

投資家のみなさまへ

東証スタンダード市場・福証
証券コード：6998

福証 I Rフェア 会社説明会

2024年1月19日

次世代マテリアルのパイオニアとして、
粉末冶金技術によりレアメタルやセラミック素材の特性を引き出し、
幅広い産業分野のニーズにマッチした高い品質の商品を提供する
金属加工メーカー



1. 当社の概要

- 会社概要
- 沿革
- 国内事業拠点
- 海外事業拠点
- コーポレート・ガバナンス体制

2. 事業内容の紹介

- タングステンの特徴
- タングステンを用いた製造方法
- 粉末冶金技術を用いた当社の製品開発
- 主な素材別商品構成比の遷移
- 当社のターゲット市場
- ターゲット市場と注力商品
- ターゲット市場別の売上高
- 注力商品紹介

3. 日本タングステングループ 長期ビジョンと事業戦略

(1) サステナビリティ経営の取組み

- 経営理念

- パーパス
- サステイナブルビジョンとマテリアリティ（＝成功の柱）
- 「成功の柱」が目指す姿
- 「成功の柱」達成の取組み

(2) 2024中期経営計画の進捗状況

- 長期的なビジョン
- 2024中期経営計画 2nd Stage 基本戦略
 - 1 既存事業の価値最大化
 - 2 成長戦略
 - 3 新商品・新規事業創出の加速
- 2024中期経営計画の進捗

4. 2024年3月期第2四半期の業績概要

- 2024年3月期第2四半期決算のサマリー
- 連結業績の概要

5. 株式の状況と株主還元

- 株式の状況
- 当社株式の活性化への取組み

- 本日のまとめ
- ご注意



1. 当社の概要

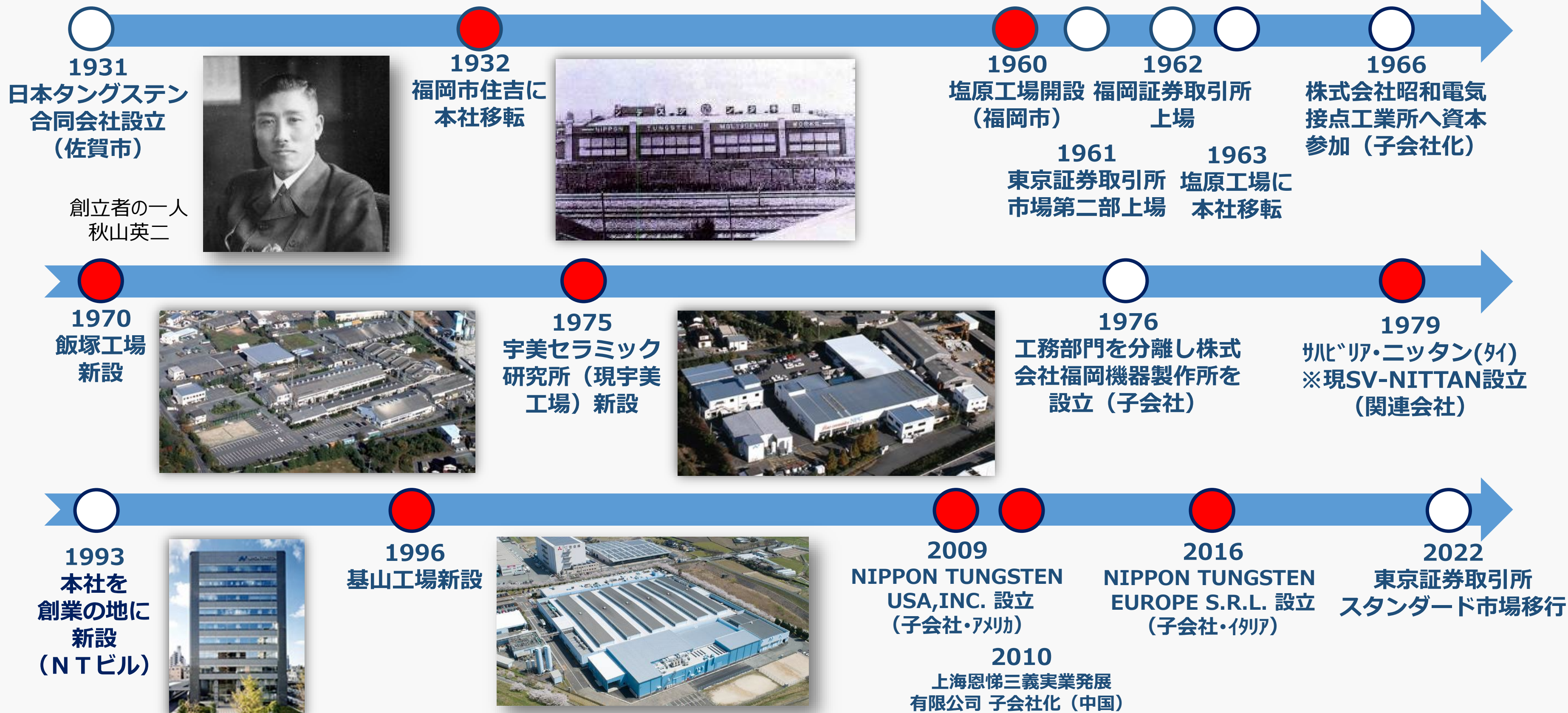
社名	日本タングステン株式会社	
創立年月日	1931年4月1日	
事業内容	1. タングステン、モリブデン、その他の金属の精製加工並びに販売 2. ファインセラミックその他窯業製品の製造並びに販売 3. 不動産の賃貸および管理 4. 太陽光発電事業	
本社所在地	福岡市博多区美野島一丁目2番8号	
資本金	25億950万円	
売上高	126億4千5百万円（2023年3月期）	
従業員数	513名（連結・2023年3月末）	
役員	代表者	代表取締役社長 後藤 信志
	構成	社内取締役 5名 独立社外取締役 4名（女性1名） 執行役員 1名
グループ会社	【国内】連結子会社 2社 【海外】連結子会社 3社 持分法適用関連会社 1社	



本社（NTビル）

沿革

創立者の一人 秋山英二がタングステンの有望性に着目、アメリカ人技術顧問の指導を受け1931年に当社を設立



本社・3工場・3営業事務所・2国内連結子会社

- 1993年竣工
- 10階建の自社ビル
(1～9階部分は法人に賃貸)
- 当社創業の地(1931年)

本社
(福岡市)



福岡県

宇美工場
(福岡県宇美町)



- 1975年セラミック研究所として開設
- 磁気ヘッド基板をメインとしたセラミックス製品の生産工場

- 1996年開設
- 電気・電子材料製品、超硬合金製品、セラミックス製品を製造
- 開発技術センター、品質保証センターを併設した基幹工場
- 2014年から太陽光発電事業(売電)を実施
- 2018年建屋増築

基山工場
(佐賀県基山町)

(株)福岡機器製作所
(連結子会社:同町)



佐賀県

飯塚工場
(福岡県飯塚市)

(株)昭和電気接点工業所
(連結子会社:同市)



- 1970年開設
- タングステン線を主とする金属材料製品の生産工場

(営業事務所)

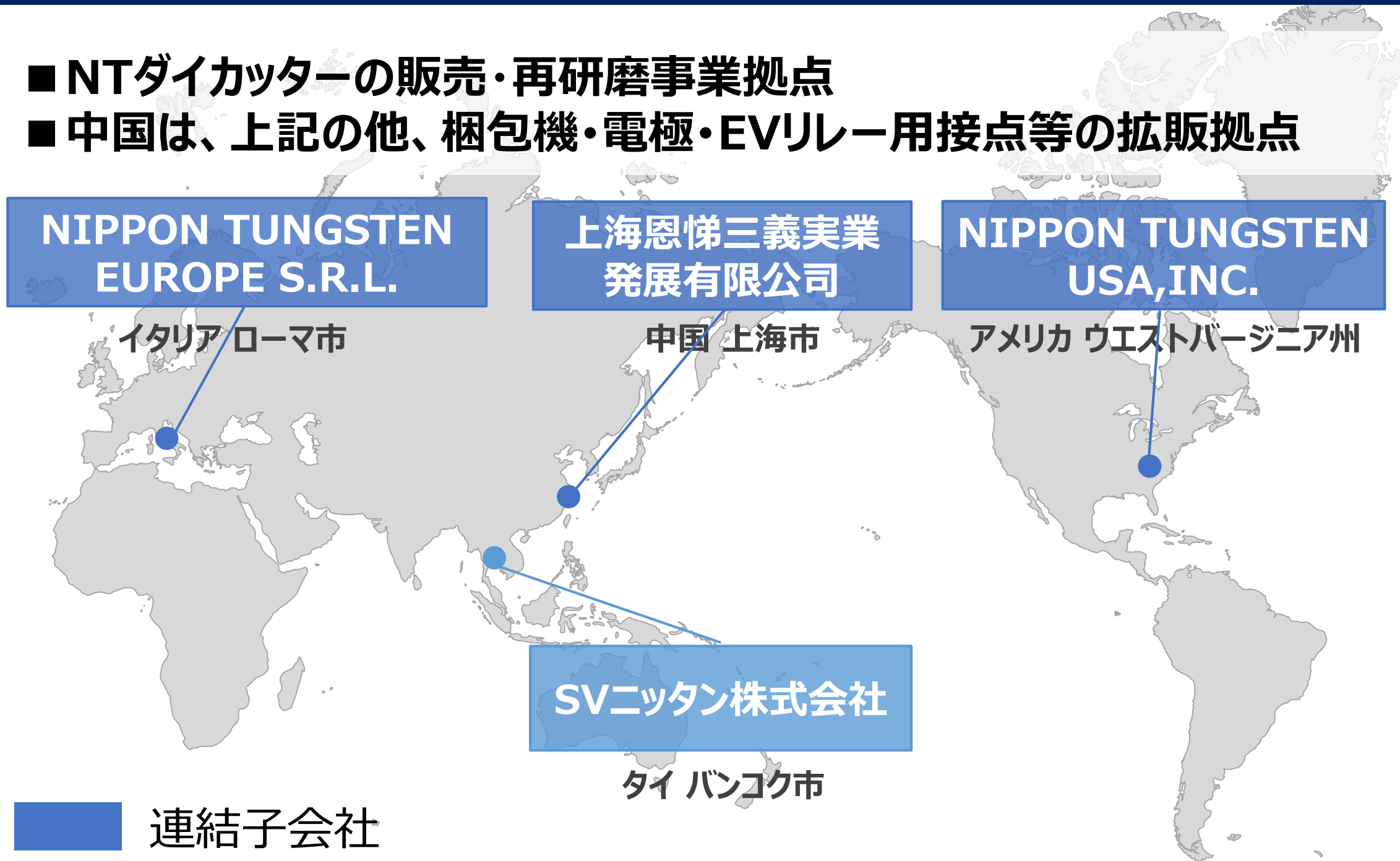
東京事務所
大阪事務所
刈谷事務所(愛知県)



桜に囲まれた基山工場

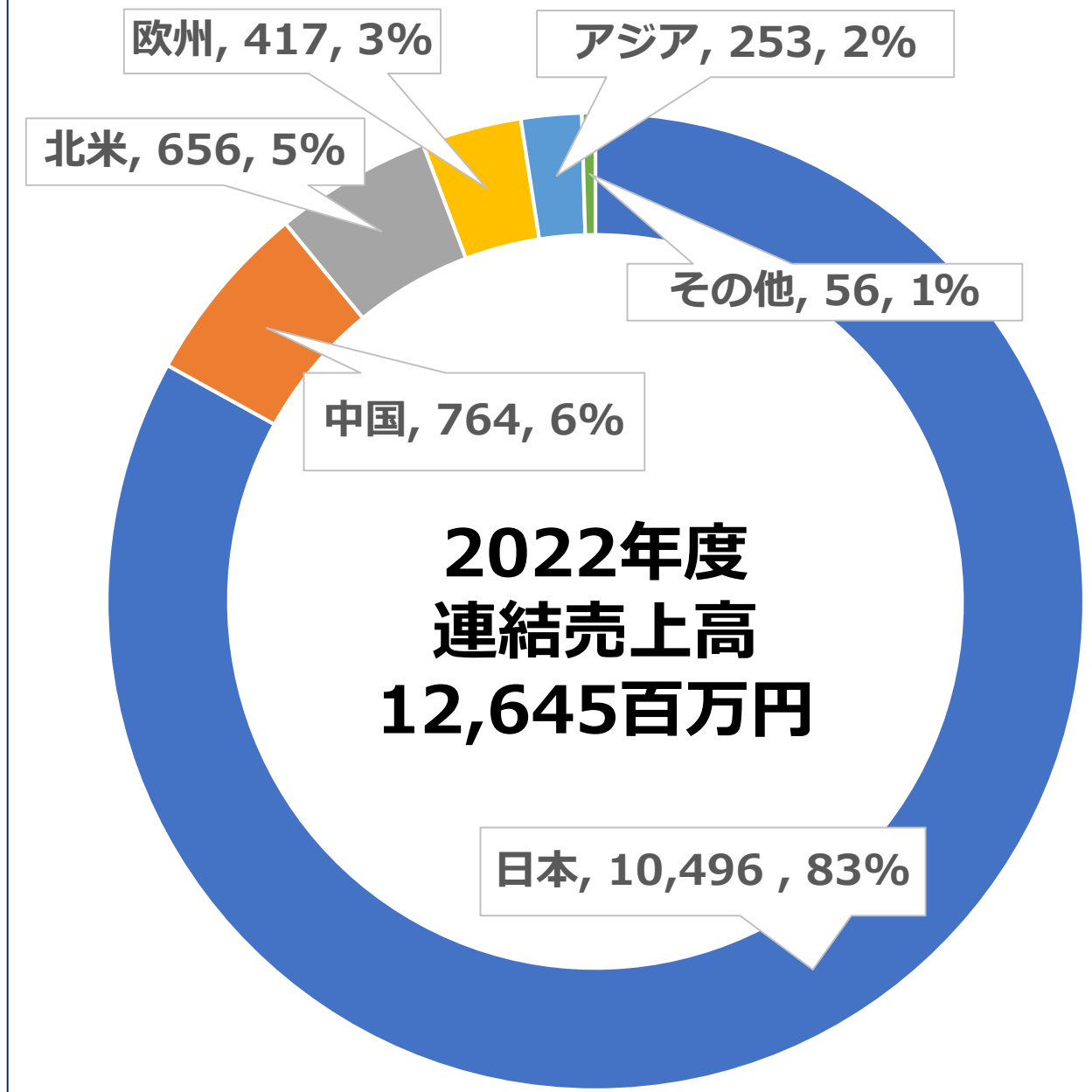
3 海外連結子会社・持分法適用関連会社

- NTダイカッターの販売・再研磨事業拠点
- 中国は、上記の他、梱包機・電極・EVリレー用接点等の拡販拠点



- 連結子会社
- 持分法適用関連会社

地域別売上高 (海外売上高比率17%)



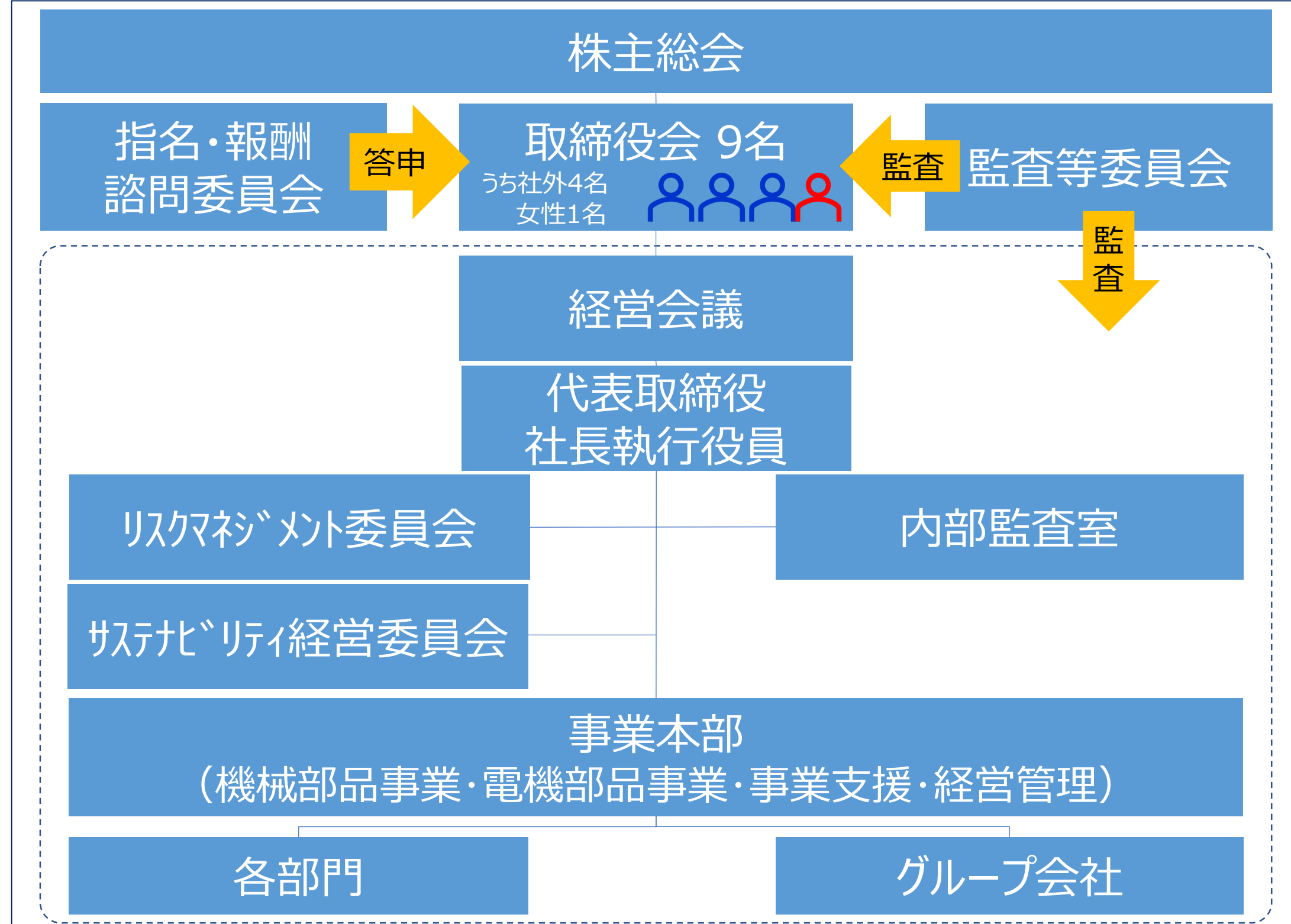
吹き出し：地域，2022年度売上高（百万円），割合

■ 日本 ■ 中国 ■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア ■ その他

コーポレート・ガバナンスの充実に向けた これまでの取り組み状況

2016年 6月	監査等委員会設置会社への移行 執行役員制度の導入
2017年 6月	取締役会の実効性評価結果の公表 開始
2018年 6月	譲渡制限付株式報酬制度の導入
2018年12月	指名・報酬諮問委員会制度の導入
2019年 6月	独立社外取締役を増員 (3名⇒4名)
2023年 5月	サステナビリティ経営委員会を発足

コーポレート・ガバナンス体制図





2. 事業内容の紹介

タングステン (W) とは

- ・元素記号の「W」は、スウェーデン語で「重い石」を意味する重金属。
- ・原子番号は74、レアメタルに属する。
- ・全世界の埋蔵量は250～300万トン（Wの純分量）と見られる。
- ・最大の生産国は中国で、世界の大半を占める。



タングステン鉱石

タングステンの3つの特徴

重い（高密度）



同じ大きさの鉄の2.5
鉛の1.7倍
高密度な特徴は放射線
を通しにくい

非常に硬い（摩耗しにくい）



炭素原子と結びついた
タングステンカーバイドは
ダイヤモンドに次ぐ硬さ

融点が高い(熱に強い)



融点（溶ける温度）が
3380℃あり、非常に
溶けにくい
（鉄は約1500℃）

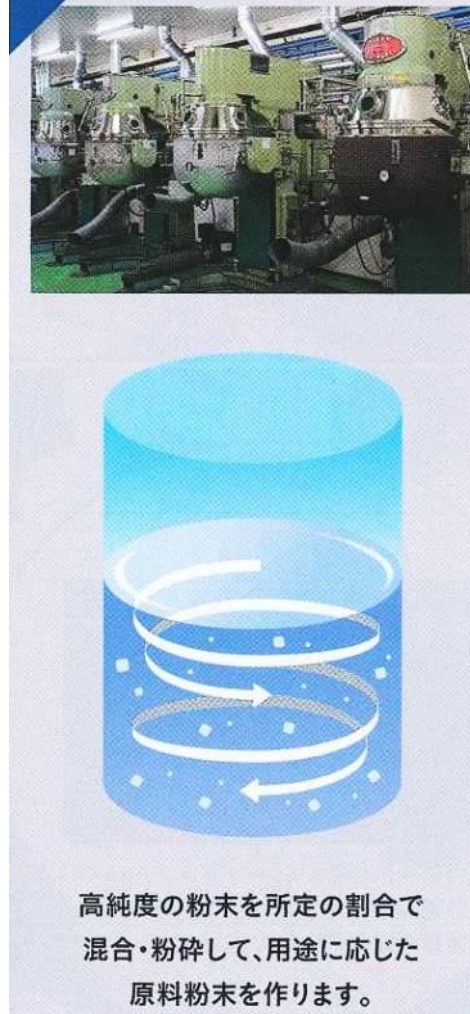
粉末冶金技術とは

金属の粉末を混合し「金型」に入れて圧縮して固め、高温で「焼結」して硬くて丈夫な製品をつくる技術

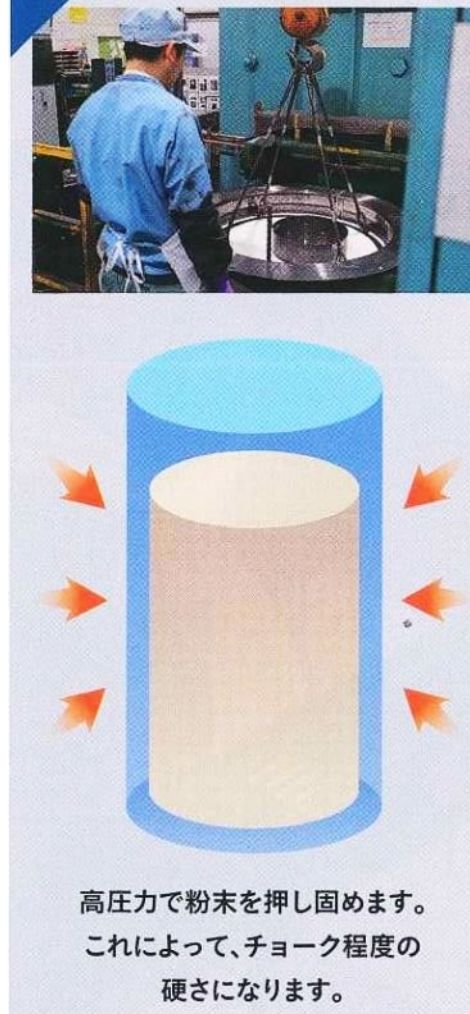
01 原材料 Raw Materials



02 混合 Mixing



03 成形 Pressing



04 焼結 Sintering



05 加工 Machining



06 出荷検査 Final Inspection



粉末冶金技術を用いた当社の製品開発

「粉末冶金技術」を駆使し、タングステン製品を軸に多様な特性を持つ商品を展開

粉末冶金技術



電球用タングステンワイヤー製品

金属材料製品 (タングステン製品)

遮蔽能力に優れる
医療関連カテーテル用
タングステンワイヤー製品



ブレーカー用電気接点

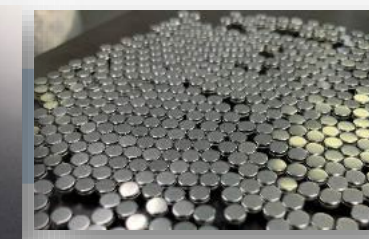
電気・電子製品 (タングステン合金)



抵抗溶接用電極



プラズマ電極



EVリレー用接点

電機部品事業

他の商品

- ・コピー機や空気清浄機の放電線
- ・自動車のホーン用接点

- ・放射線遮蔽材料
- ・バランサー用錘
- ・その他電極製品

- **熱に強い** タングステンの特徴を用いた電球フィラメントが、当社の出発点
- タングステンに銅や銀を組み合わせ、**通電性や耐アーク性を備えた**合金を開発
- 粉末冶金技術を生かし、タングステン以外のチタンやアルミニウム等からなる**緻密**なファインセラミックスを開発

「粉末冶金技術」
「素材のノウハウ」
「加工技術」

多様な特性を持つ
商品を展開

1931

1950

1970

1980

1990

2000

セラミックス材料を応用

タングステンカーバイドとコバルト等を組み合わせ、**耐摩耗性や耐腐食性に優れた**合金を開発

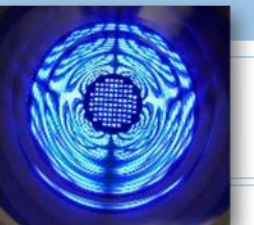
ハードディスクドライブ
(HDD)用
磁気ヘッド基板



セラミックス製品 (セラミックス材料)

開発

- ・遠紫外LED



- ・耐摩耐食部品
- ・セラミックス精密加工品
- ・ウルトラファインバブル関連製品

機械部品事業

超硬合金製品 (タングステンカーバイド合金)



NTダイカッター

二軸押出機用部材
「MAZELLOY®」



- ・産業用設備向け耐摩耗部材
- ・液晶塗付用超硬長尺製品
- ・超硬精密加工品

粉末冶金技術を用いた当社の製品開発

「粉末冶金技術」を駆使し、タングステン製品を軸に多様な特性を持つ商品を展開



電球用タングステン
ワイヤー製品

金属材料製品
(タングステン製品)

遮蔽能力に優れる
医療関連カテーテル用
タングステンワイヤー製品



粉末冶金技術

- 熱に強いタングステンの特徴を用いた電球フィラメントが、当社の出発点

1931

1950

1970

1980

1990

2000

粉末冶金技術を用いた当社の製品開発

「粉末冶金技術」を駆使し、タングステン製品を軸に多様な特性を持つ商品を展開



電球用タングステンワイヤー製品

金属材料製品 (タングステン製品)

遮蔽能力に優れる
医療関連カテーテル用
タングステンワイヤー製品



ブレーカー用電気接点

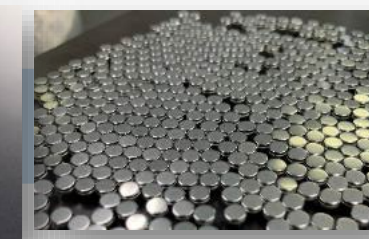
電気・電子製品 (タングステン合金)



抵抗溶接用電極



プラズマ電極



EVリレー用接点

- **熱に強い** タングステンの特徴を用いた電球フィラメントが、当社の出発点
- タングステンに銅や銀を組み合わせ、**通電性や耐アーク性を備えた**合金を開発

粉末冶金技術

1931

1950

1970

1980

1990

2000

粉末冶金技術を用いた当社の製品開発

「粉末冶金技術」を駆使し、タングステン製品を軸に多様な特性を持つ商品を展開



電球用タングステンワイヤー製品

金属材料製品
(タングステン製品)

遮蔽能力に優れる
医療関連カテーテル用
タングステンワイヤー製品

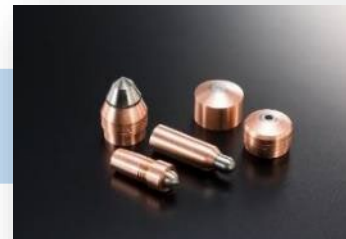


ブレーカー用電気接点

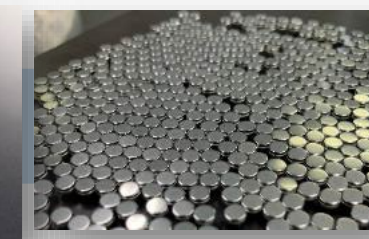
電気・電子製品
(タングステン合金)



抵抗溶接用電極



プラズマ電極



EVリレー用接点

- **熱に強い** タングステンの特徴を用いた電球フィラメントが、当社の出発点
- タングステンに銅や銀を組み合わせ、**通電性や耐アーク性を備えた**合金を開発

粉末冶金技術

1931

1950

1970

1980

1990

2000

タングステンカーバイドとコバルト等を
組み合わせ、**耐摩耗性や
耐腐食性に優れた**合金を開発

超硬合金製品
(タングステンカーバイド合金)



NTダイカッター

二軸押出機用部材
「MAZELLOY®」



粉末冶金技術を用いた当社の製品開発

「粉末冶金技術」を駆使し、タングステン製品を軸に多様な特性を持つ商品を展開



電球用タングステンワイヤー製品

金属材料製品 (タングステン製品)

遮蔽能力に優れる
医療関連カテーテル用
タングステンワイヤー製品



プレーカー用電気接点

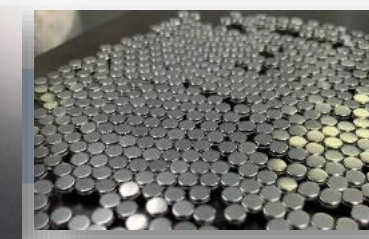
電気・電子製品 (タングステン合金)



抵抗溶接用電極



プラズマ電極



E Vリレー用接点

- **熱に強い** タングステンの特徴を用いた電球フィラメントが、当社の出発点
- タングステンに銅や銀を組み合わせ、**通電性や耐アーク性を備えた**合金を開発
- 粉末冶金技術を生かし、タングステン以外のチタンやアルミニウム等からなる**緻密**なファインセラミックスを開発

粉末冶金技術

1931

1950

1970

1980

1990

2000

セラミックス材料を応用

タングステンカーバイドとコバルト等を組み合わせ、**耐摩耗性や耐腐食性に優れた**合金を開発

ハードディスクドライブ
(HDD)用
磁気ヘッド基板



セラミックス製品 (セラミックス材料)

超硬合金製品 (タングステンカーバイド合金)



NTダイカッター

二軸押出機用部材
「MAZELLOY®」



粉末冶金技術を用いた当社の製品開発

「粉末冶金技術」を駆使し、タングステン製品を軸に多様な特性を持つ商品を展開



電球用タングステンワイヤー製品

金属材料製品 (タングステン製品)

遮蔽能力に優れる
医療関連カテーテル用
タングステンワイヤー製品



ブレーカー用電気接点

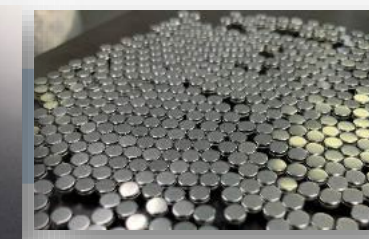
電気・電子製品 (タングステン合金)



抵抗溶接用電極



プラズマ電極



EVリレー用接点

電機部品事業

- 他の商品
- ・コピー機や空気清浄機の放電線
 - ・自動車のホーン用接点

- ・放射線遮蔽材料
- ・バランサー用錘
- ・その他電極製品

粉末冶金技術

- **熱に強い** タングステンの特徴を用いた電球フィラメントが、当社の出発点
- タングステンに銅や銀を組み合わせ、**通電性や耐アーク性を備えた**合金を開発
- 粉末冶金技術を生かし、タングステン以外のチタンやアルミニウム等からなる**緻密**なファインセラミックスを開発

「粉末冶金技術」 「素材のノウハウ」 「加工技術」

多様な特性を持つ 商品を展開

1931

1950

1970

1980

1990

2000

タングステンカーバイドとコバルト等を組み合わせ、**耐摩耗性や耐腐食性に優れた**合金を開発

超硬合金製品 (タングステンカーバイド合金)

ハードディスクドライブ
(HDD)用
磁気ヘッド基板

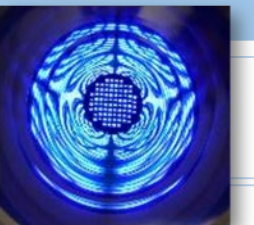


セラミックス製品 (セラミックス材料)

セラミックス材料を応用

開発

- ・遠紫外LED



- ・耐摩耐食部品
- ・セラミックス精密加工品
- ・ウルトラファインバブル関連製品

機械部品事業

- ・産業用設備向け耐摩耗部材
- ・液晶塗付用超硬長尺製品
- ・超硬精密加工品



NTダイカッター

二軸押出機用部材
「MAZELLOY®」



主な素材別 商品構成比の遷移

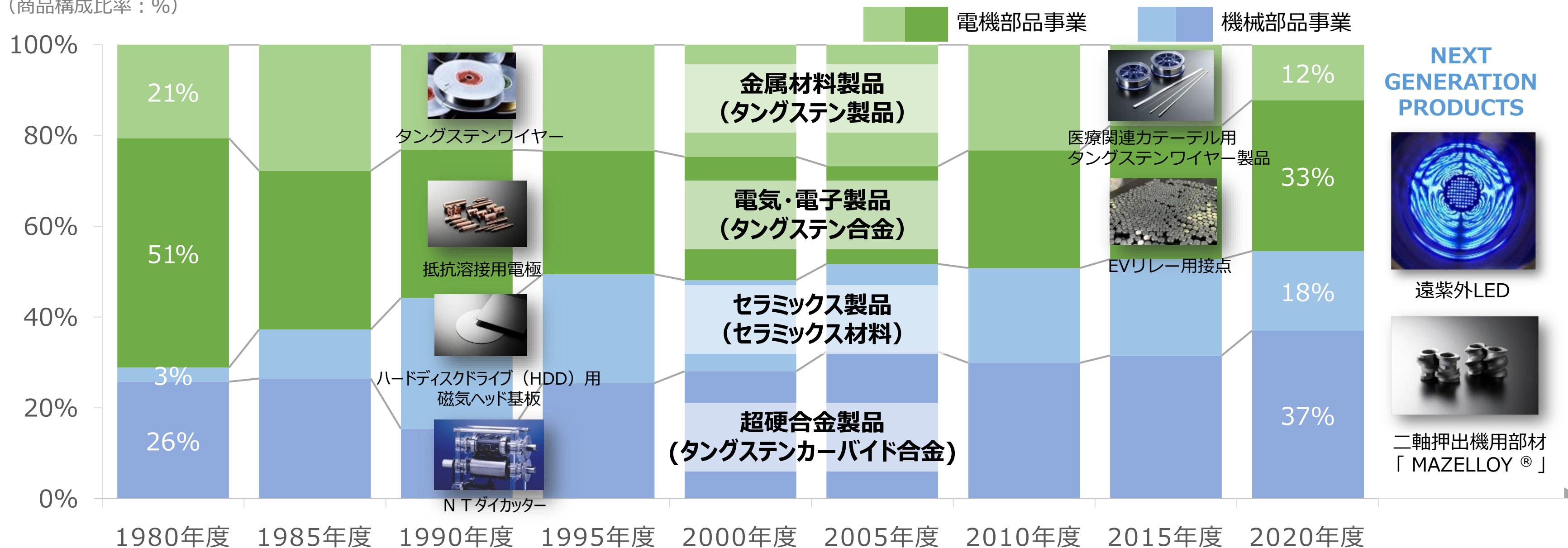
各産業分野のニーズに合わせた商品を提供

セラミックス製品	ハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板	世界 No. 1 シェア
超硬合金製品	NTダイカッター（ロータリーカッター）	国内 No. 1 シェア 世界 No. 2 シェア

※シェアは全て当社調べ

素材別商品構成比の遷移

(商品構成比率：%)



商品特性に応じた事業セグメント

機械部品事業



セラミックス製品
(セラミックス材料)



超合金製品
(タングステン-ハイト合金)

電機部品事業

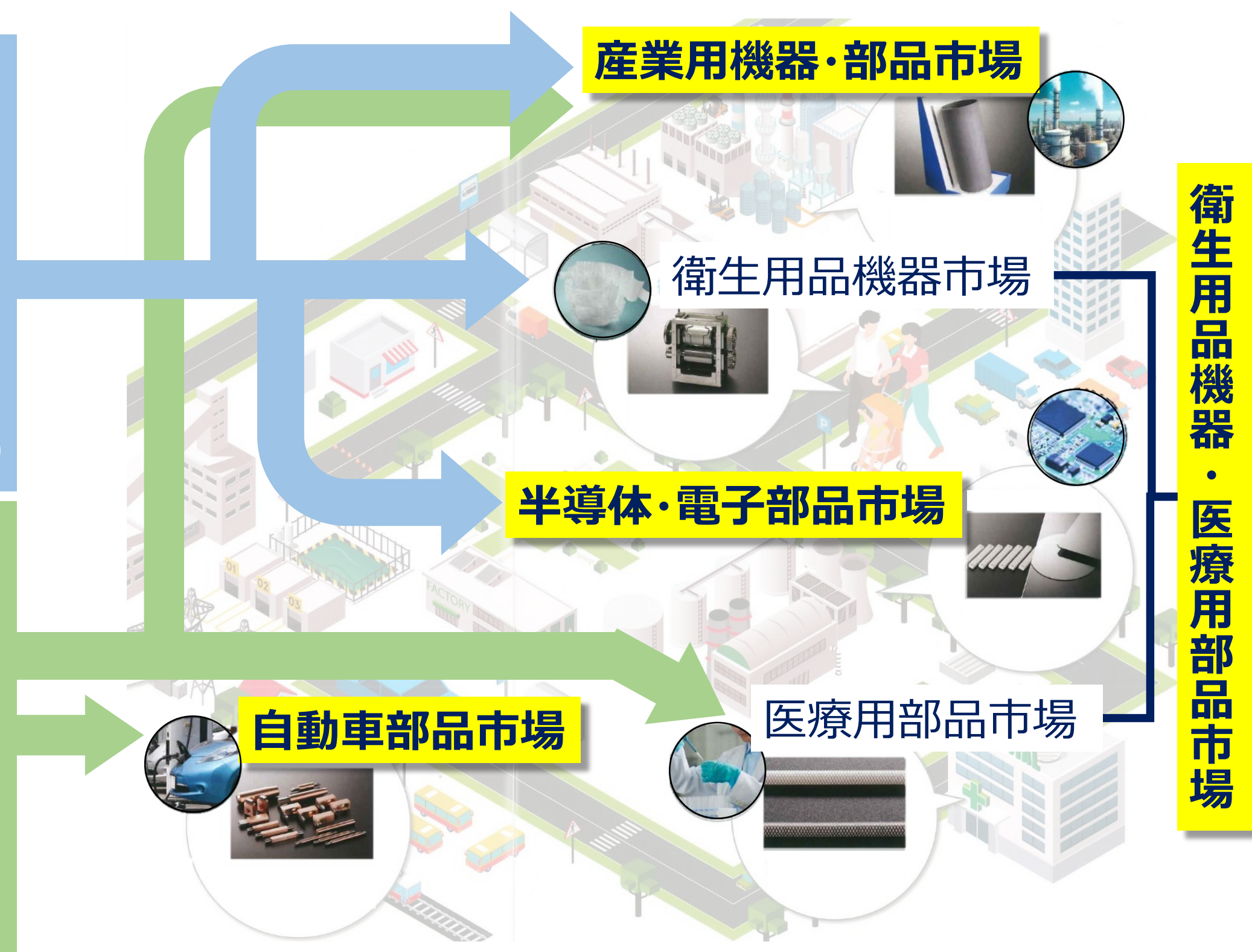


金属材料製品
(タングステン製品)



電気・電子製品
(タングステン合金)

用途別に整理した4つのターゲット市場



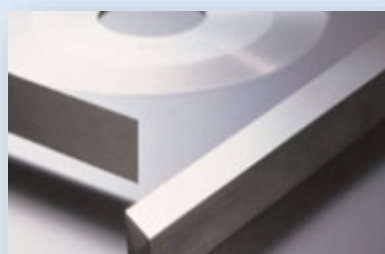
4つのターゲット市場に、粉末冶金技術を生かした素材・商品群を提供。

ターゲット市場	事業セグメント別の注力製品	
	機械部品事業	電機部品事業
半導体・電子部品市場	 <p>ハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板</p> <p>世界 No. 1 シェア(当社調べ)</p>	 <p>プラズマ電極</p>
自動車部品市場	 <p>二軸押出機用部材 「MAZELLOY®」 (コンパウンド混錬機用)</p> <p>新商品</p>	 <p>EVリレー用接点</p>  <p>抵抗溶接用電極 (電装部品溶接用)</p>
産業用機器・部品市場	 <p>産業用設備向け耐摩耗部材 液晶塗付用超硬長尺製品</p>	 <p>ブレーカー用電気接点</p>
衛生用品機器・医療用部品市場	 <p>NTダイカッター</p> <p>国内 No. 1 シェア(当社調べ)</p> <p>世界 No. 2 シェア(当社調べ)</p>	 <p>医療関連カテーテル用 タングステンワイヤー製品</p>

ターゲット市場別の売上高

機械部品事業

産業用設備向け耐摩耗部材
液晶塗付用超硬長尺製品



電機部品事業

ブレーカー用電気接点



産業用機器・部品市場
3,594百万円

機械部品事業

ハードディスクドライブ(HDD)用
磁気ヘッド基板

世界 No. 1 シェア(当社調べ)



電機部品事業

プラズマ電極



半導体・電子部品市場
3,362百万円

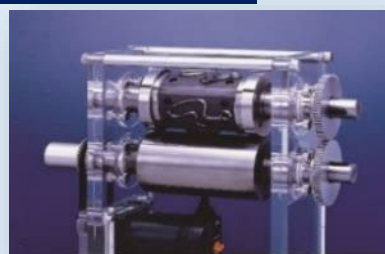
自動車部品市場
2,280百万円

機械部品事業

N T ダイカッター

国内 No. 1 シェア(当社調べ)

世界 No. 2 シェア(当社調べ)



電機部品事業

医療関連カテーテル用
タングステンワイヤー製品



衛生用品機器
・医療用部品市場
2,060百万円

機械部品事業

二軸押出機用部材
「MAZELLOY®」
(コンパウンド混練機用)

新商品

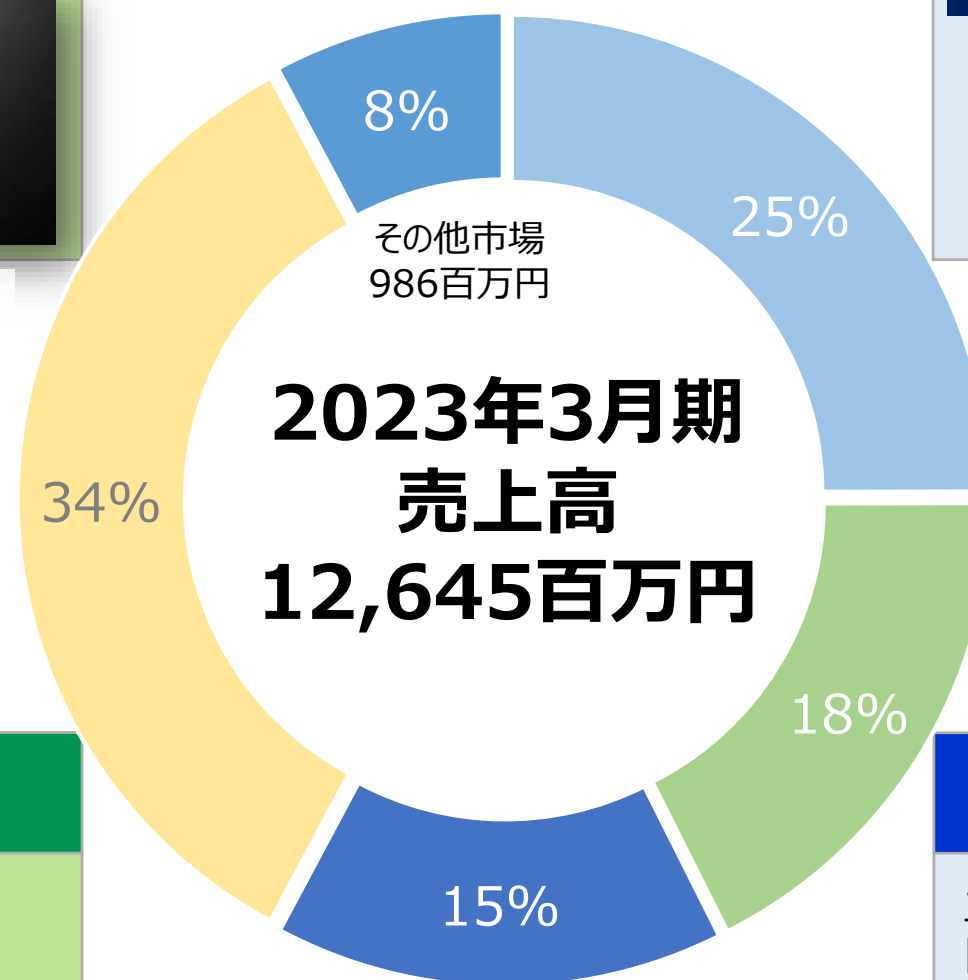


電機部品事業

EVリレー用接点



抵抗溶接用電極
(電装部品溶接用)

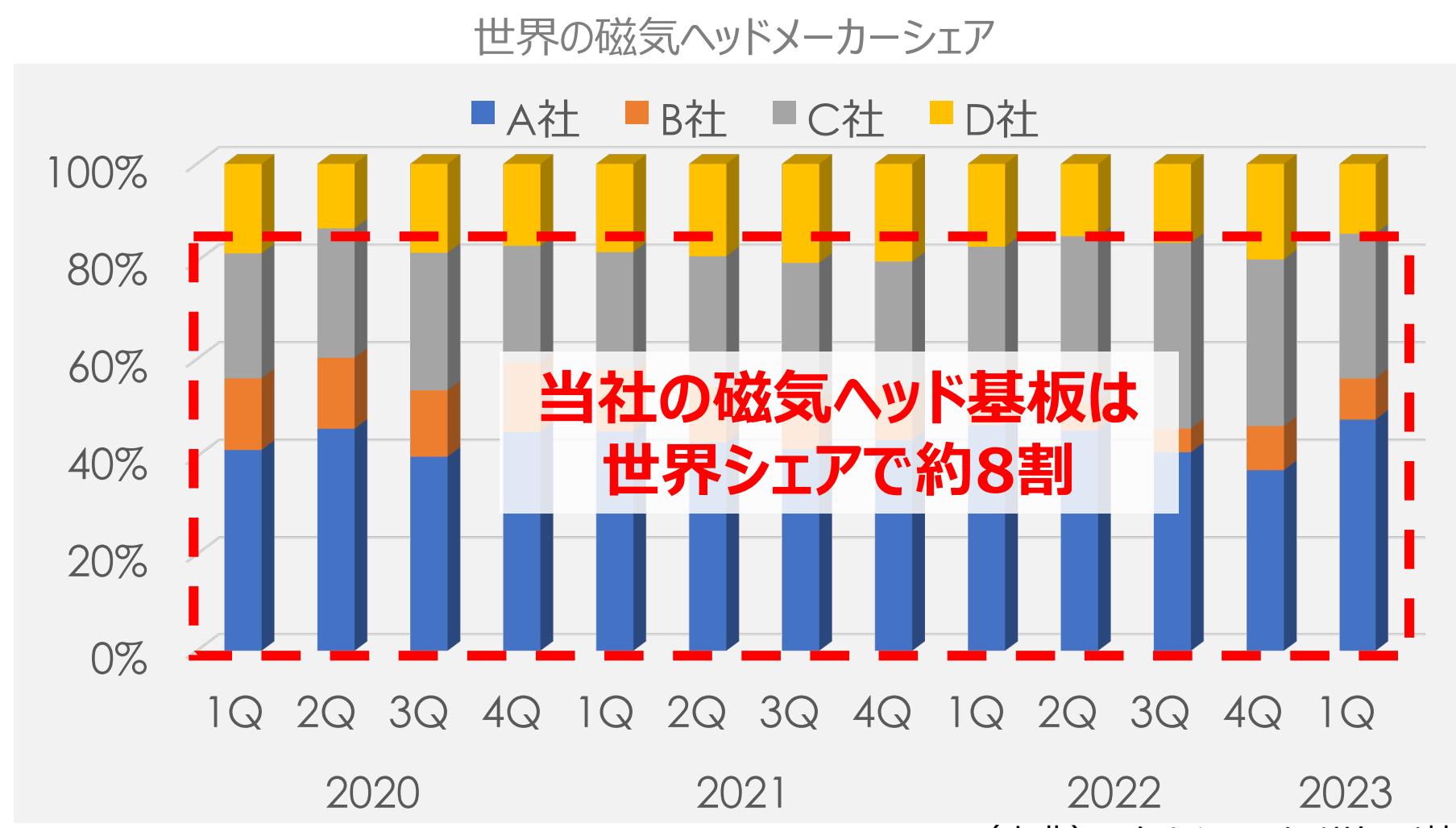
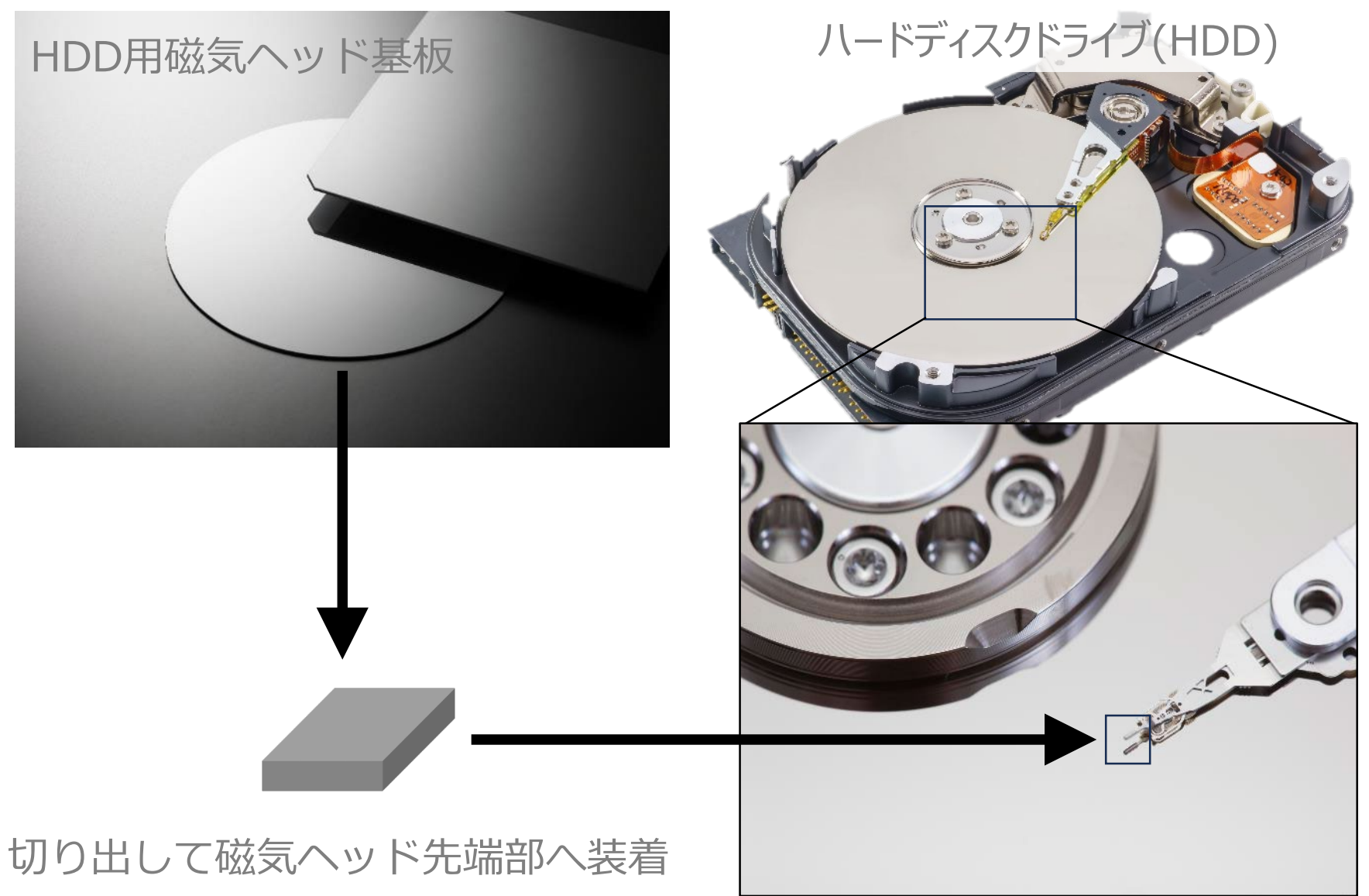


①【半導体・電子部品市場】
ハードディスクドライブ（HDD）用
磁気ヘッド基板

注力商品紹介 (HDD用磁気ヘッド基板)

■ ハードディスクドライブ (HDD) 用磁気ヘッド基板

- ハードディスクドライブ (HDD) のデータの読み書き部分 (磁気ヘッド) で、性能を左右する重要部材「磁気ヘッド基板」
- 高純度、緻密であり、微細で均質な結晶粒子から成る、高品質製品
- 株式会社プロテリアル (旧：日立金属 (株)) と共同開発した磁気ヘッド基板は、磁気ヘッドサイズの小型化や生産性向上 (基板の大口径化・薄型化) といった顧客のニーズに応え続けることで、圧倒的なシェアをもつ。



(出典) テクノ・システム・リサーチ社

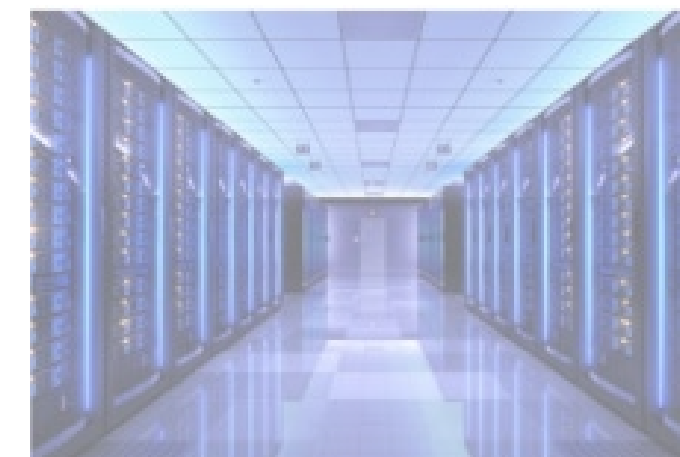
世界の主なHDDメーカー (Western Digital・Seagate等) に当社材料を供給

注力商品紹介 (HDD用磁気ヘッド基板)

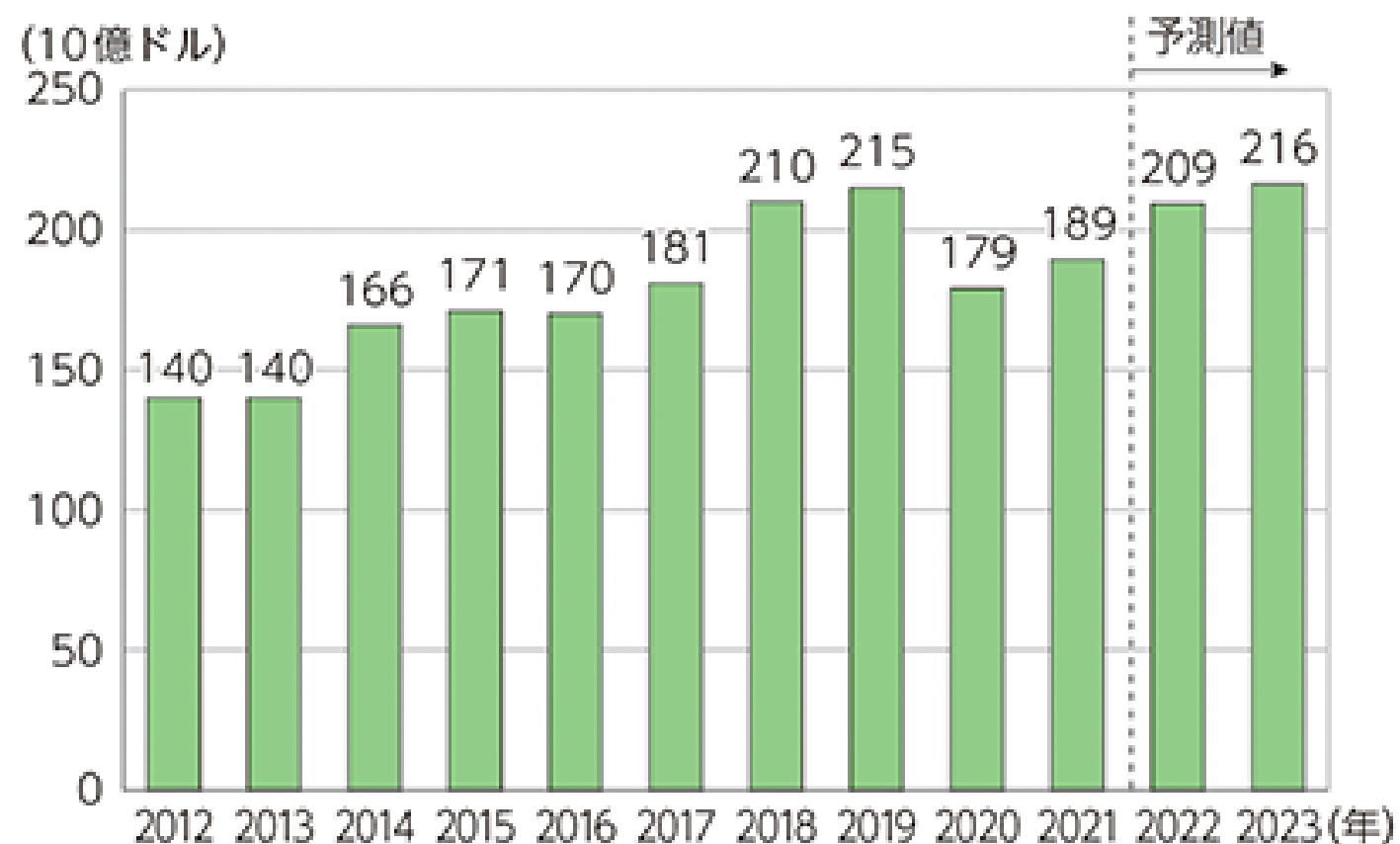
■ データセンター市場の動向

- DX(デジタルトランスフォーメーション)、高速通信規格「5G」、クラウドサービスの普及によりデータ流通量は増加傾向。
- データセンターの能力拡張といった潜在需要は強く、中長期的に国内、海外とも需要は堅調に推移していく見込み。

※**データセンター**:サーバーをはじめとする情報通信機器などを集積して設置・保管・運用することに特化した設備

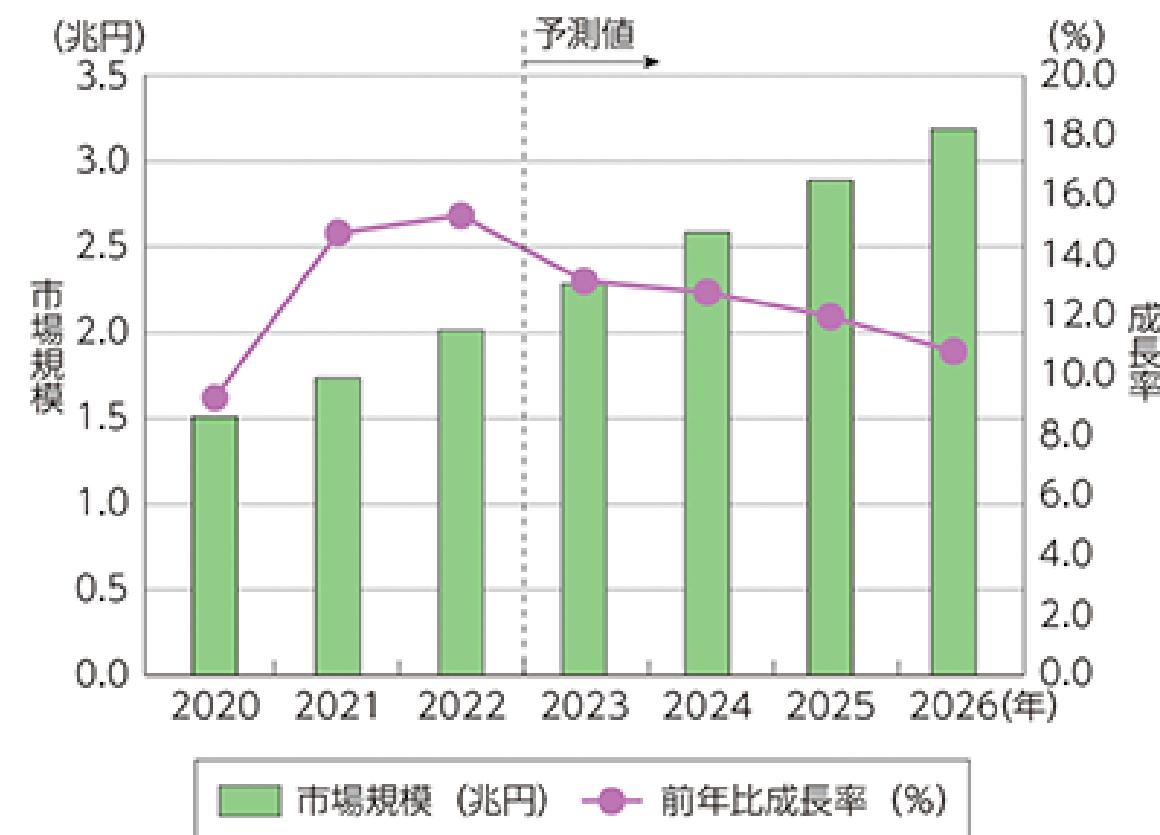


世界のデータセンターシステム市場規模（支出額）の推移及び予測



(出典) Statista (ガートナー)

日本のデータセンターサービス市場規模（売上高）の推移及び予測



※ 2022年は見込、2023年以降は予測

(出典) IDC「国内データセンターサービス市場予測を発表」(2022年8月29日)

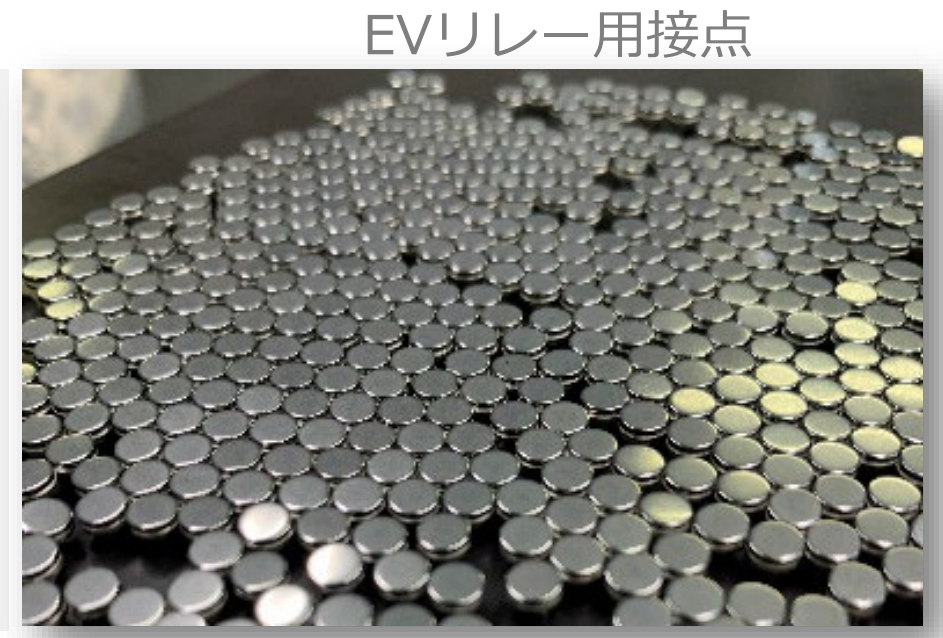
② 【自動車部品市場】
EVリレー用接点

注力商品紹介 (EVリレー用接点)

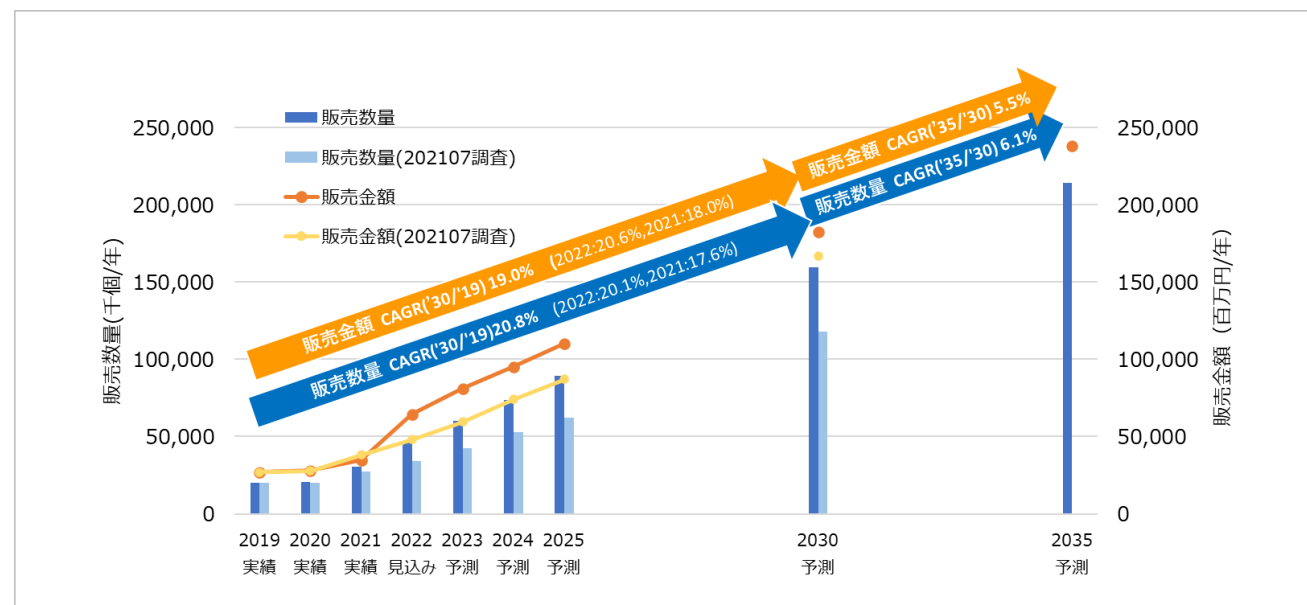
自動車
部品市場

EVリレー用接点の役割

- EV車1台にEVリレーは3～4個搭載される。当社製品 (EVリレー用接点) はEVリレーに搭載され、事故などの緊急時にバッテリー、モーターの電流を瞬時に完全に遮断する重要な役割を持つ。
- 世界のEV市場の急成長とともに、EVに搭載されるシステムメインリレー市場は2030年までに20%以上の市場成長を予測し、今後大きく拡大していく見込み。

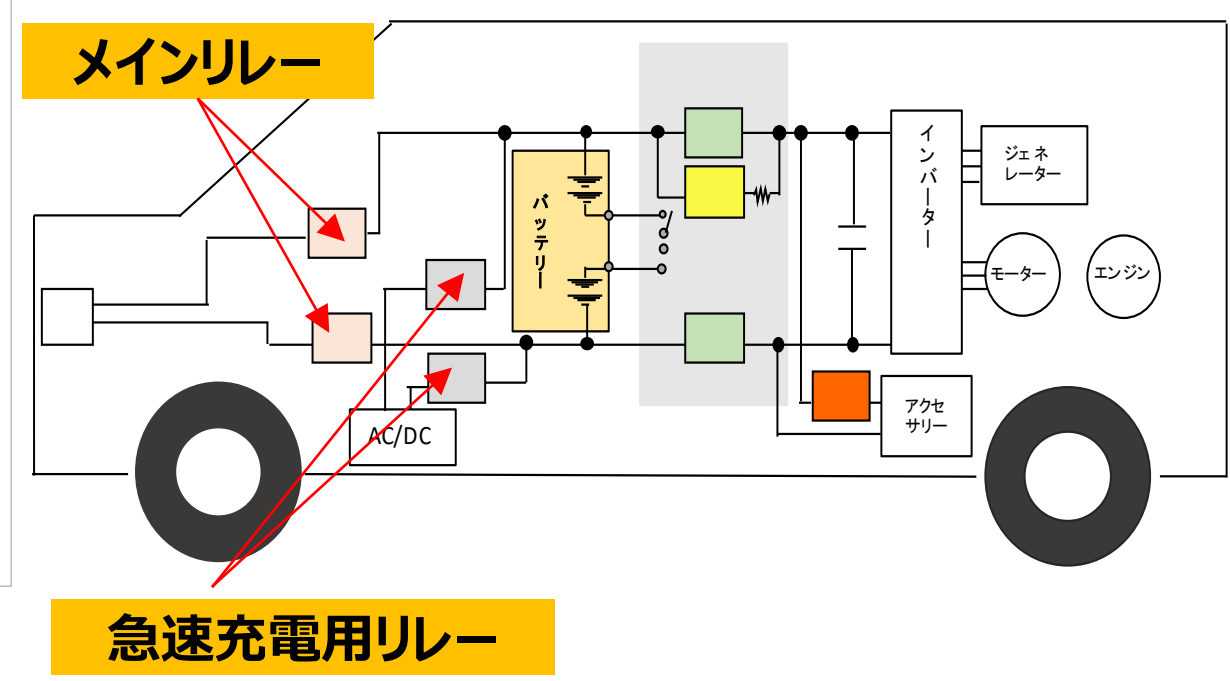


SMR (システムメインリレー) 販売市場規模 (W/W)



(富士キメラ総研「車載電装デバイス&コンポーネンツ総調査」をもとに作成)

EV、HEV向けEVリレーのアプリケーション例



持続可能な社会への貢献

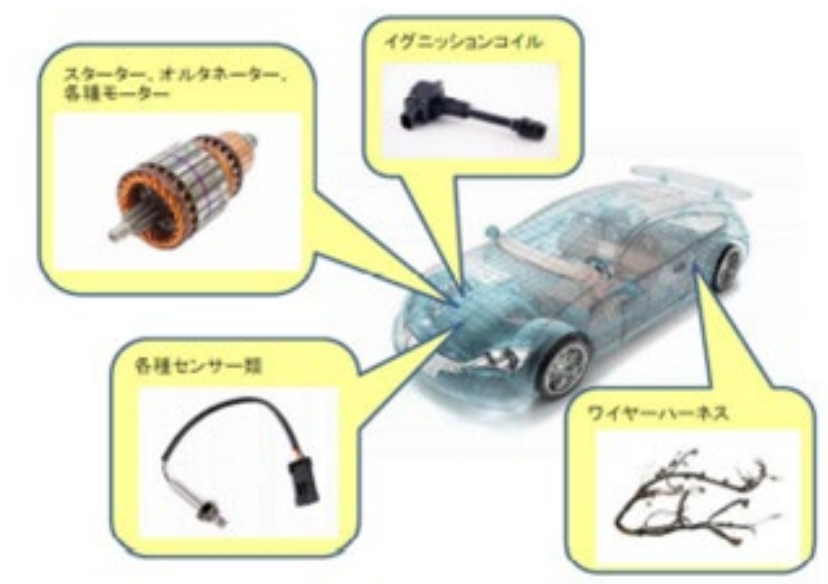
✓ EV車の普及に貢献 ... 脱炭素

③ 【自動車部品市場】 電装部品溶接用の抵抗溶接電極

注力商品紹介 (電装部品溶接用の抵抗溶接電極)

■ 抵抗溶接用電極の用途 (特にモビリティ産業の生産工程で貢献)

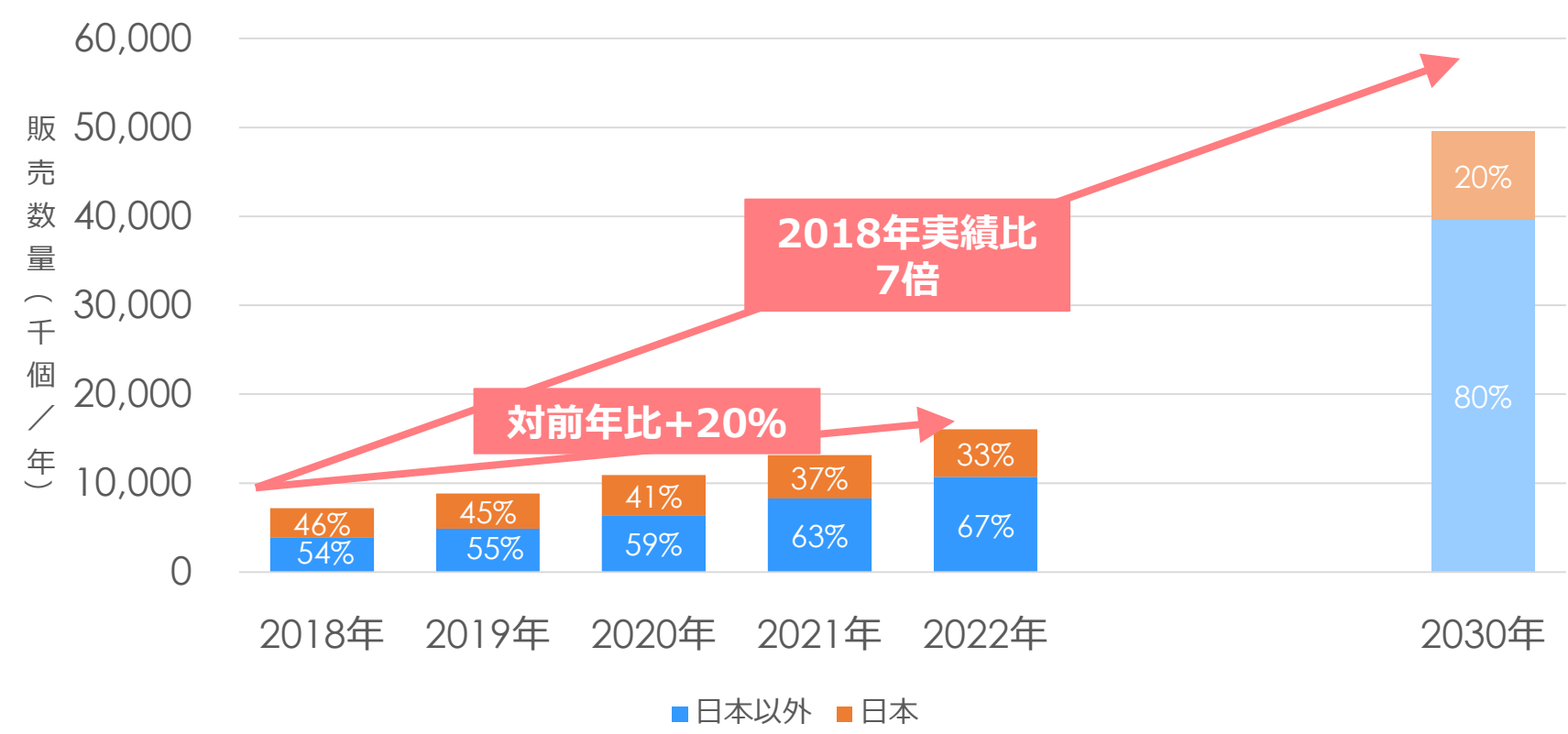
- 当社の抵抗溶接用電極は、主に銅材料の溶接に使用され、ワイヤーハーネスやモーターといった自動車製造に欠かせない電装部品の溶接用の電極として使用されている。
- 2030年には2018年実績比で、当社製品の主要用途であるワイヤーハーネスの需要は1.4倍、駆動用モーターの需要は7倍になると予測され、順調に伸びていく見込み。



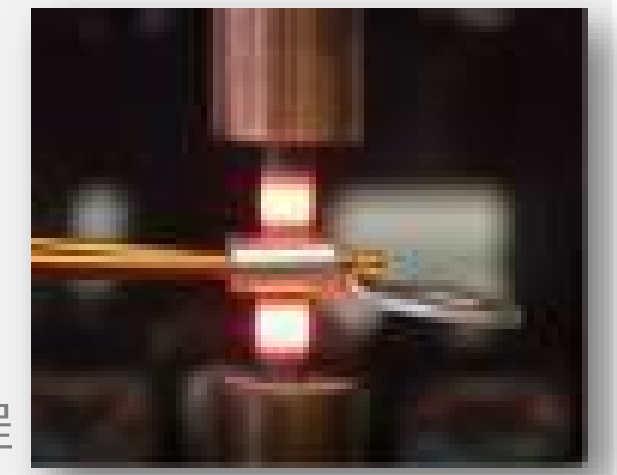
抵抗溶接用電極



HV/EV/PHV/FCV駆動用モーターの市場規模推移と予測



抵抗溶接：被溶接物を電極で加圧しながら電流を流し、被溶接物の自己抵抗発熱により局所的に接合する工法



電装部品のヒュージング工程

持続可能な社会への貢献

✓EV車の普及への貢献 ... 脱炭素

(注) %の数字は全体に占める日本、日本以外市場それぞれの割合 (SVPジャパン「車載ワイヤーハーネス市場調査」をもとに作成)

④【衛生用品機器・医療用部品市場】 超硬合金製ダイカッター

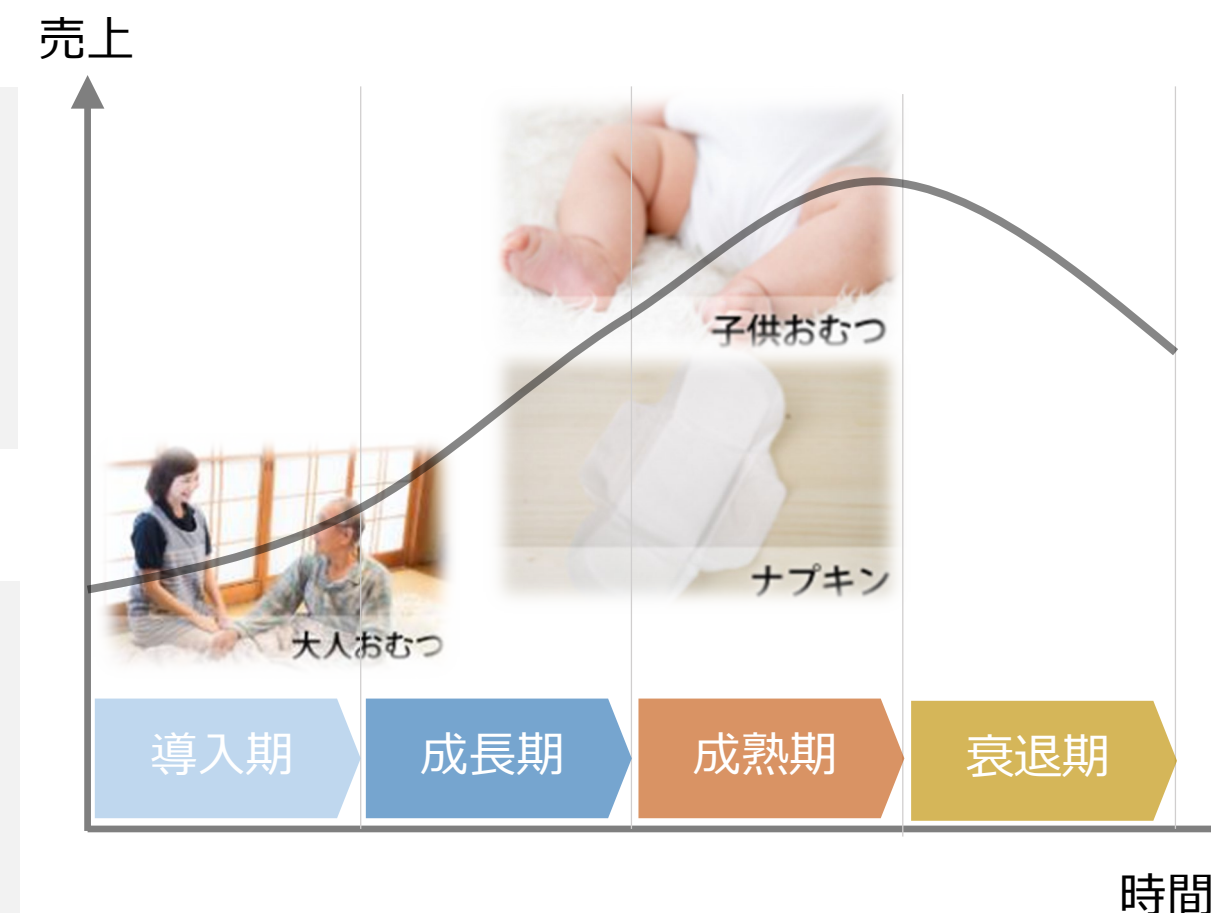
注力商品紹介 (超合金製ダイカッター)

■ 世界のおむつ市場の動向

- 少子化の進展に伴い、子供おむつ・生理用ナプキン市場は成熟期を迎える。
- また、高齢化の進展に伴い、大人用おむつ市場は大きな成長が見込まれる。

■ 衛生用品製造機用ダイカッターの特徴

- 1986年、当社のNTダイカッター®は、世界で初めて実用化された 高性能超合金製ロータリーカッターで、不織布・紙・ポリマー・金属箔などの高速輪郭加工を可能とする。
- **国内 No. 1** (シェア約50%)、**世界 No. 2** (シェア約22%) 【当社調べ】



不織布切断工程 (当社テストライン)

NTダイカッター®

持続可能な社会への貢献

- ✓ 衛生用品の普及に貢献
 - … **世界の人々の健康と福祉**
- ✓ 耐久性向上
 - … **廃棄物削減資源の有効活用)**

⑤【衛生用品機器・医療用部品市場】 カテーテル用タングステンワイヤー・リボン

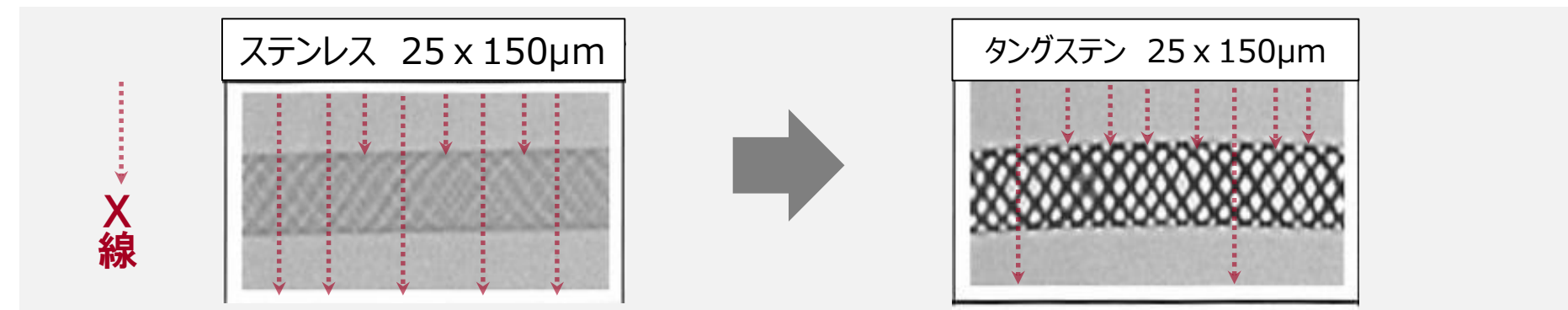
注力商品紹介 [] カテーテル用 タングステンワイヤー・リボン

■ カテーテル治療におけるタングステンワイヤー・リボンの役割

- 高密度・高比重のタングステンワイヤー・リボンは放射線の遮蔽力が高いことから、カテーテル線の内部に使用することにより、X線で撮影した画像が鮮明となる。
(X線の照射量を減らすことができるため患者の身体的負担軽減に貢献)
- 毛髪よりも細く加工することが可能なことから、カテーテル線の細線化にも貢献。
- カテーテル手術の世界市場規模は拡大中。



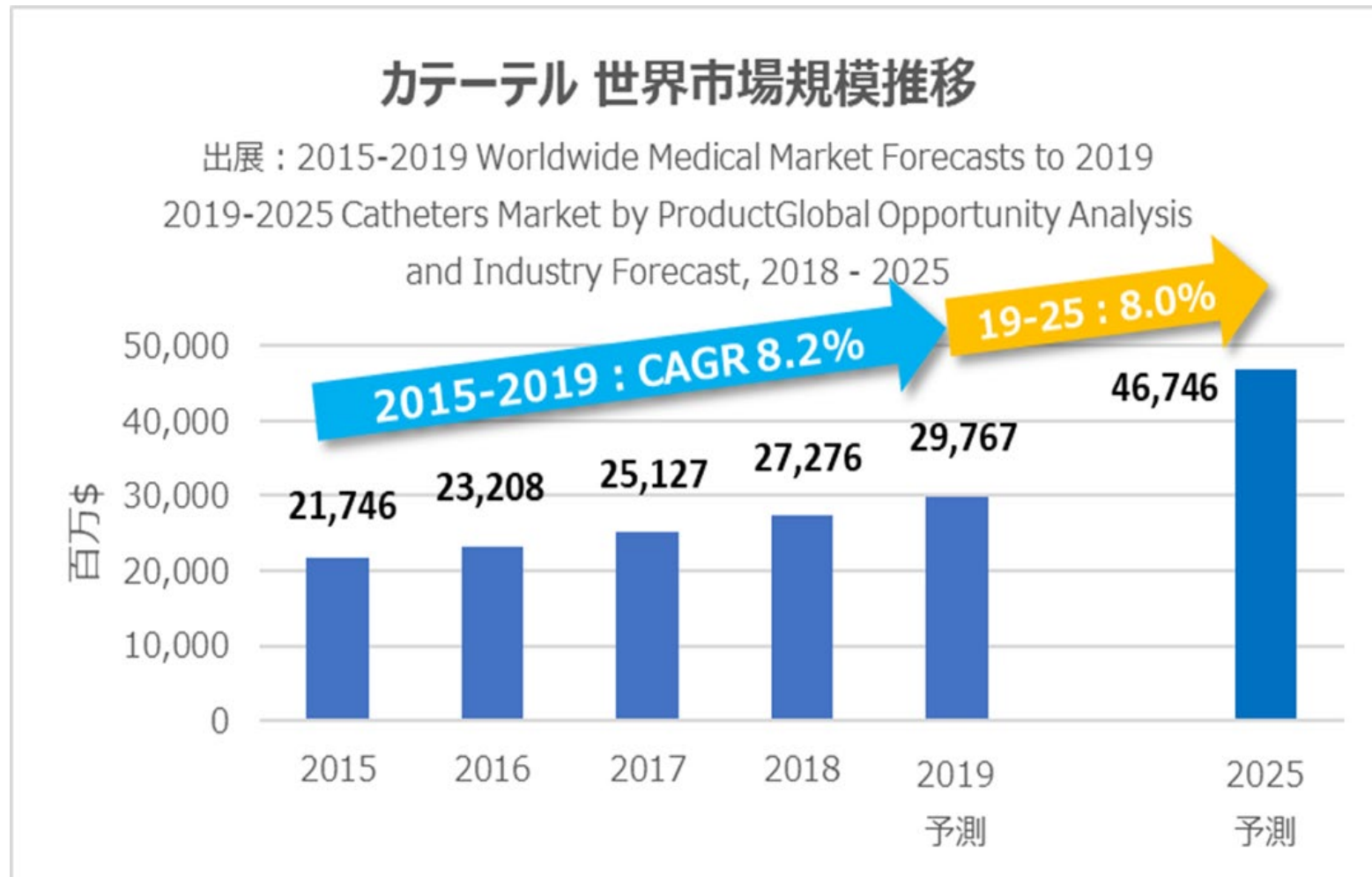
X線を通しにくいタングステンの特徴を利用



* タングステンは鉄の**2.5倍の重さ**があり、その特徴で、同じ条件下でX線を照射したモニターでは**2.5倍クリア**に見える。
* X線照射量を減らすことで、**体の負担が軽減**される。

持続可能な社会への貢献

✓ 低侵襲医療の普及に貢献 … **世界の人々の健康と福祉**



⑥【衛生用品機器・医療用部品市場】
手術支援ロボット用
タングステンワイヤーロープ

注力商品紹介

手術支援ロボット用 タングステンワイヤーロープ

衛生用品機器
医療用部品市場

NIPPON TUNGSTEN CO.,LTD. 35



■ 手術支援ロボット

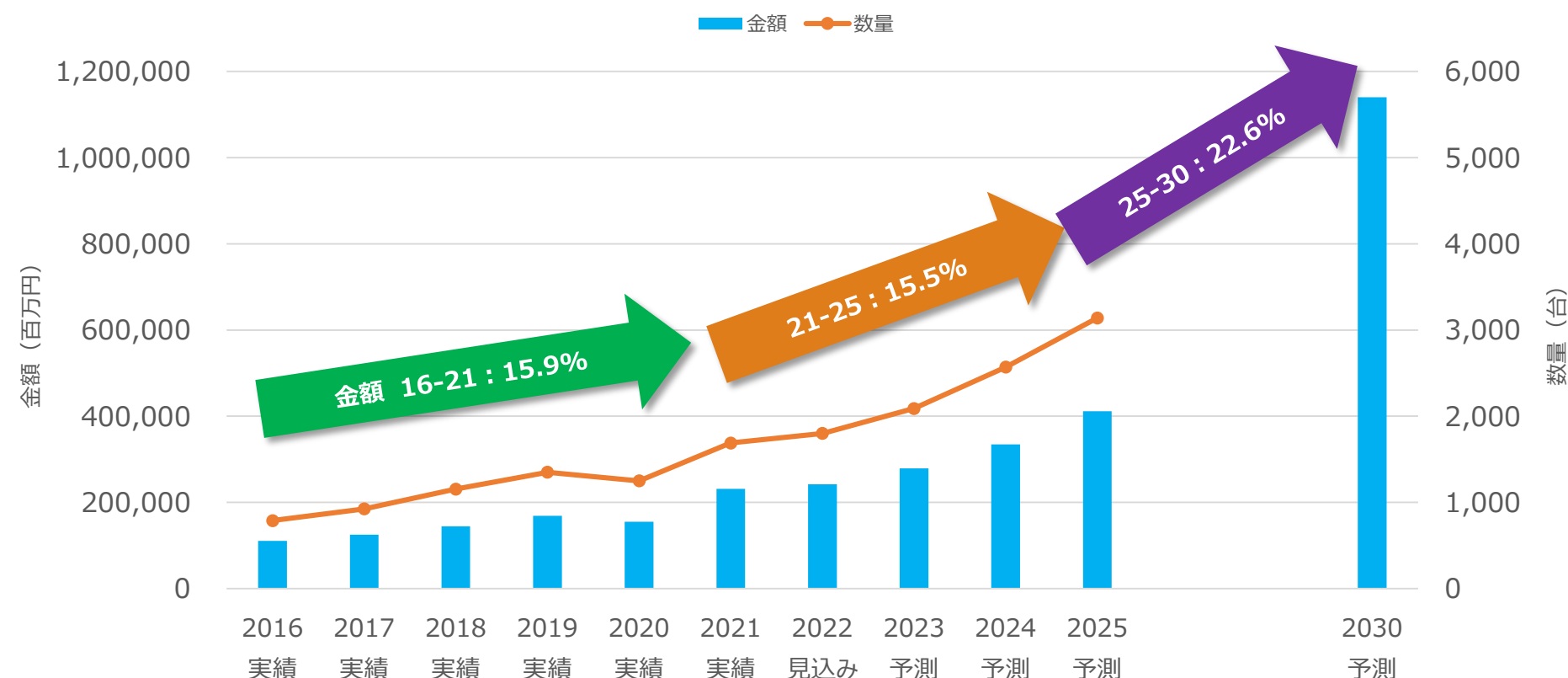
- 医師が3Dの内視鏡カメラによる立体映像を見ながら、ロボット部分のアームを操作して、患者の胸腔や腹腔の患部に直接触れずに手術を行うためのロボット。
- 「手術中の出血が少ない」「手術による傷口が小さい」「感染症のリスクが低い」等のメリットがあるとされている。



■ 手術支援ロボットの市場動向

- 手術支援ロボットの年平均成長率は27.7%と予測され、2025年の世界市場規模（予測）は6,000億円を見込む。

手術支援ロボット 海外市場規模推移



- 手術支援ロボットの導入には、各国の保険制度適用が大きく影響。
- 米国では幅広い手術に活用されており、日本でも2018年以降適用範囲が拡大中。
- タングステンワイヤーロープはステンレス材に比べ、強度や操作伝達性に優れており、ロボットのアーム部材として新規参入を目指す。

持続可能な社会への貢献

✓ 低侵襲医療の普及に貢献 …… 世界の人々の健康と福祉

新商品

⑦ 【自動車部品市場】 二軸混錬押出機用部材 MAZELLOY[®]

注力商品紹介 (二軸混練押出機用部材 MAZELLOY®)

■ 樹脂（プラスチック）は自動車の3大材料のひとつ

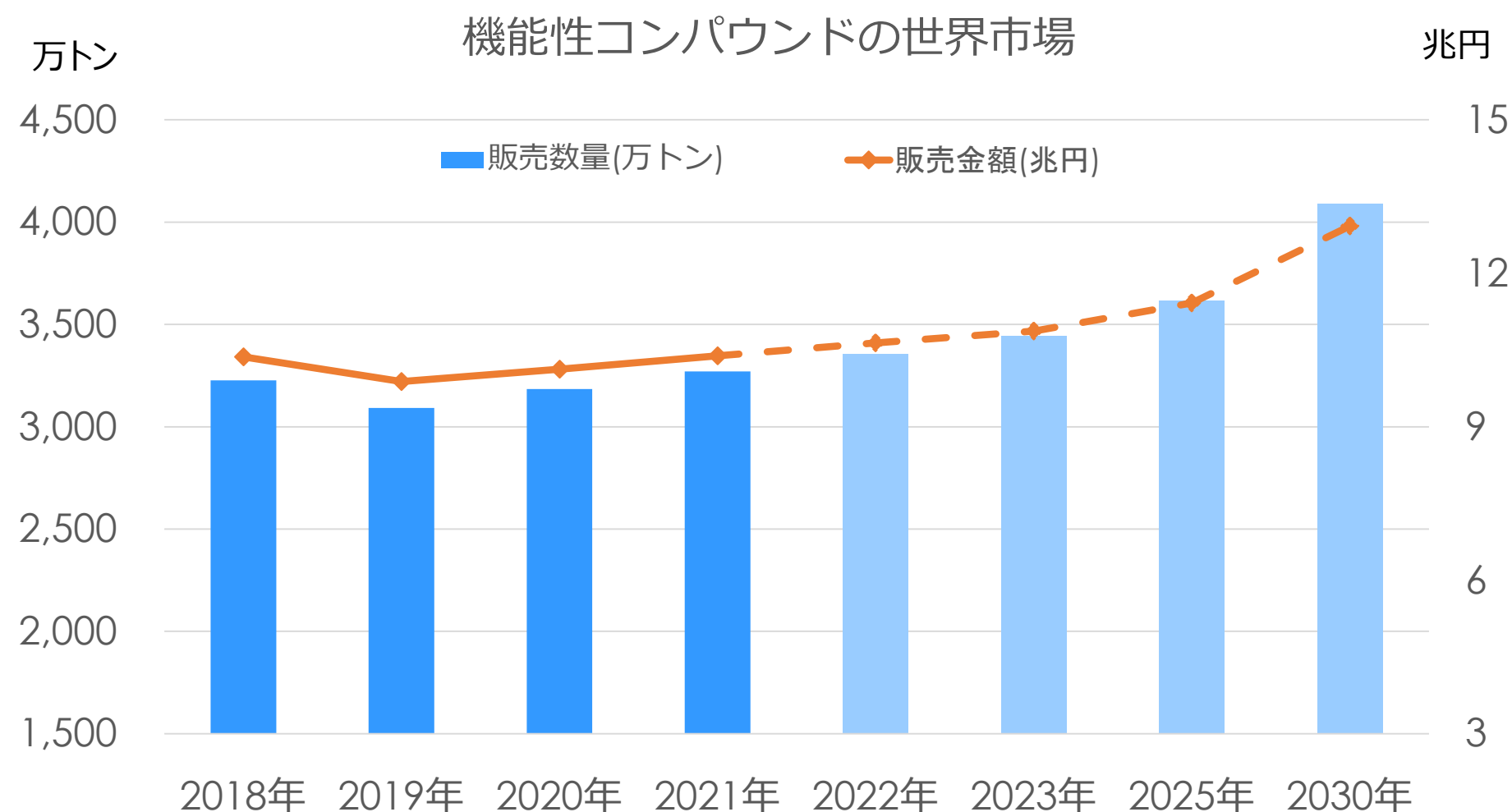
- 樹脂（プラスチック）は自動車の3大材料（鉄・アルミ・樹脂）のひとつ。電動化の進展などで様々な製品・部品の軽量化ニーズは高まっている。
- ベースとなる樹脂にガラス繊維や添加剤などを混ぜ合わせ、強度や難燃性などの優れた機能を持つ高機能プラスチックに加工することを「コンパウンド」という。

■ 機能性コンパウンド市場

- EV化により、自動車ボディの軽量化が進むことから、機能性コンパウンド市場は2023年には2017年比で2.5%の成長を予測し、その後も順調に伸びていく見込み。

■ 高機能プラスチックの用途が拡大中

- 自動車のプラットフォーム、ルーフ、ドア、フードなどでCFRP（炭素繊維強化プラスチック）の需要が拡大。



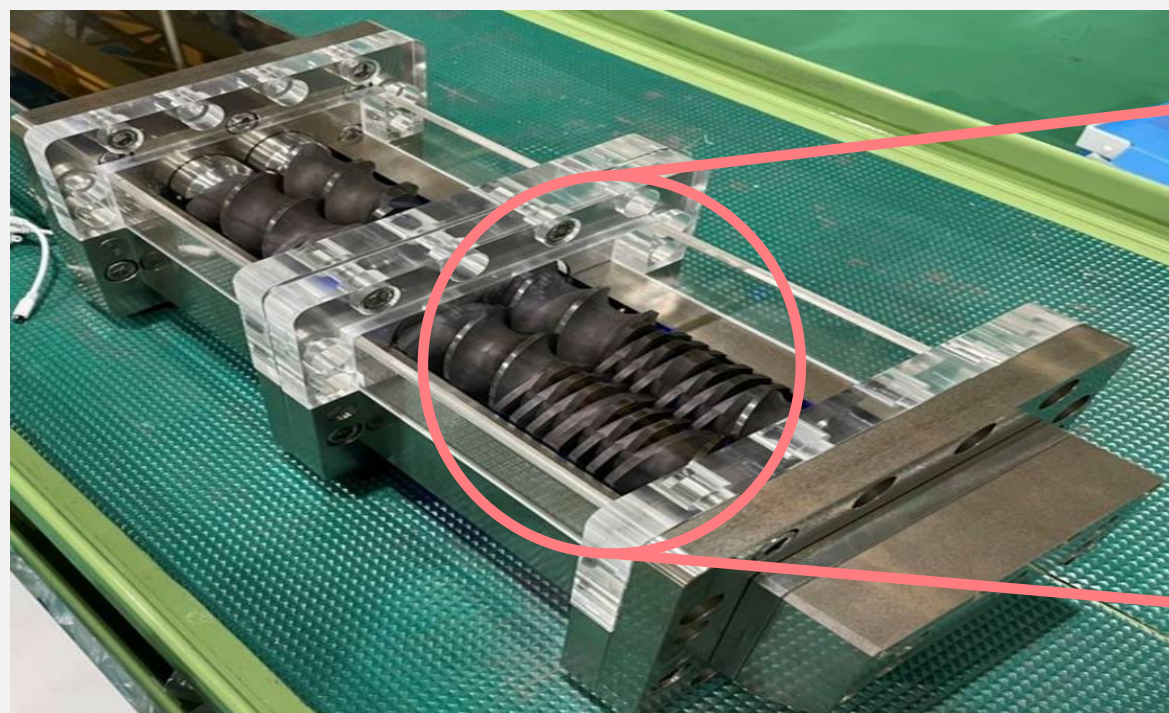
■ 二軸混練押出機に用いられる「MAZELLOY®」

- 二軸混練押出機は2本のスクリーを回転させ、コンパウンドを行うための装置。
- 自動車部品をはじめとする各種用途のコンパウンド製造のため、世界各国で活用されている。



MAZELLOY®

二軸混練押出機に用いられる「MAZELLOY®」



二軸混練押出機



スクリー部に装着したMAZELLOY®

■ 二軸混錬押出機用部材“MAZELLOY®”の強み

- 「MAZELLOY®」は、耐摩耗性・耐腐食性・耐衝撃性を高い次元であわせもった製品
- 製造物の品質向上、管理工数削減、コストダウンに寄与
- 「MZ01」(2020年9月)を市場に投入。さらに新商品「MZⅡ」を開発(2022年12月)。



新材料「MZⅡ」の概要

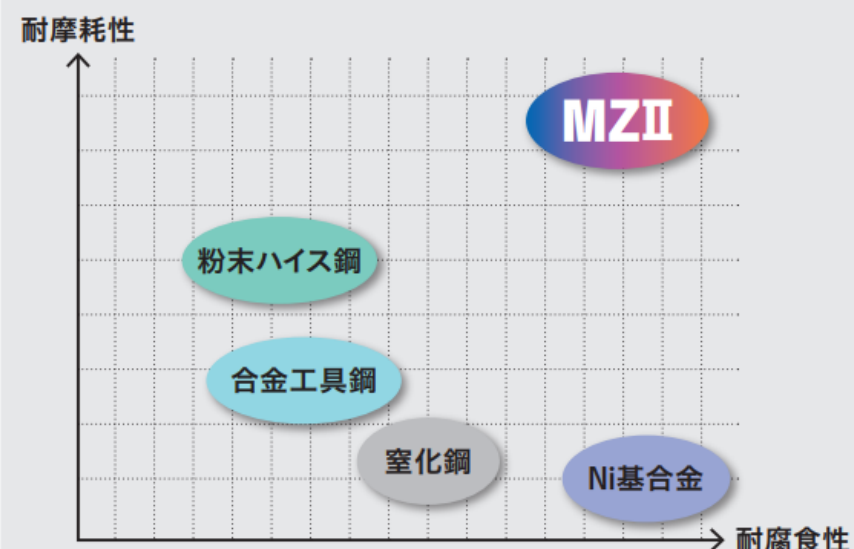
それぞれの材料の長所を活かしつつ、
欠点を補い合った新しい複合材料

開発
コンセプト



新材料「MZⅡ」のポジショニング

耐摩耗性 × 耐腐食性を兼ね備えた
オールインワンの新材料「MZII」



適用箇所

- 二軸押出機関連部材 (スクリューエレメント、バレル等)
- 射出成形機関連部材 (成形金型、スクリュー先端部品等)

MAZELLOY®のメリット

製造物の品質向上
(腐食・摩耗に強く摩耗成分の混入最小化)

管理工数削減
(多用途の生産に対応)

コストダウン
(部材の交換頻度削減)

■ 認知度の向上

- MAZELLOY®の普及に向けて、認知度の向上と拡販に注力。

2022年“超”モノづくり部品大賞

(主催：モノづくり日本会議/日刊工業新聞社)

「日本力 (にっぽんぶらんど) 賞」を受賞

2022年12月1日付日刊工業新聞「MZ II 開発」記事掲載。

当社HPよりリンク「https://www.nittan.co.jp/topics/topics_page_1_586.html」



当社のMAZELLOY開発チームが第9回ものづくり日本大賞「優秀賞」を受賞

(主催：経済産業省ほか)

当社HPよりリンク

「https://www.nittan.co.jp/topics/topics_page_1_594.html」



■ 持続可能な社会への貢献

- 車体軽量化のための高機能プラスチック素材や、次世代蓄電池の生産課題を解決することで、EV化を加速させ社会の低炭素化に貢献。
 - ✓ 車の軽量化に貢献 …… **脱炭素**
 - ✓ 耐久性向上 …… **廃棄物削減 (資源の有効活用)**

3. 日本タングステングループ 長期ビジョンと事業戦略

3. 日本タングステングループ 長期ビジョンと事業戦略

(1) サステナビリティ経営の取組み

■企業理念 | Our Corporate Philosophy

日本タングステンは、
世界の人々と従業員の明るい未来を実現するために
- **マテリアルからはじまる価値創造に挑戦し続けます。**
- 常にNo.1を目指し、かけがえのない存在であり続けます。

■行動規範 | Our Way

- ・私たちは、情熱を持って、失敗を恐れずチャレンジします。
- ・私たちは、当事者意識を持って、すぐ行動しやり遂げます。
- ・私たちは、相手の立場になって、期待以上で応えます。

— OUR PURPOSE —

より少なく、よりよく。

BUILDING A BETTER WORLD FROM LESS.

これまで。
社会の声にストイックであり続けた。
より少なく、よりよく。
それは、社会に対するわたしたちの解答。歩み。哲学。
そして、マテリアルを追求してきたことの証。

これから。
わたしたちが耳を傾けるもの。それは未来の声だ。
人々の困りごとに。大量消費のない社会に。限りある時間に、資源に。
何より、希望へとつながる明日に。

点と点、人と人をつなげ、たくさんの声に応えてゆこう。
新しい思考を取り込みながら。想像力を創造力へ。
すべての人がワクワクするような未来へ。
できるはずだ。ずっとそうしてきたのだから。
これからも、きっと。

変化とともに在ろう。

今よりもっと、より少なく。よりよく。

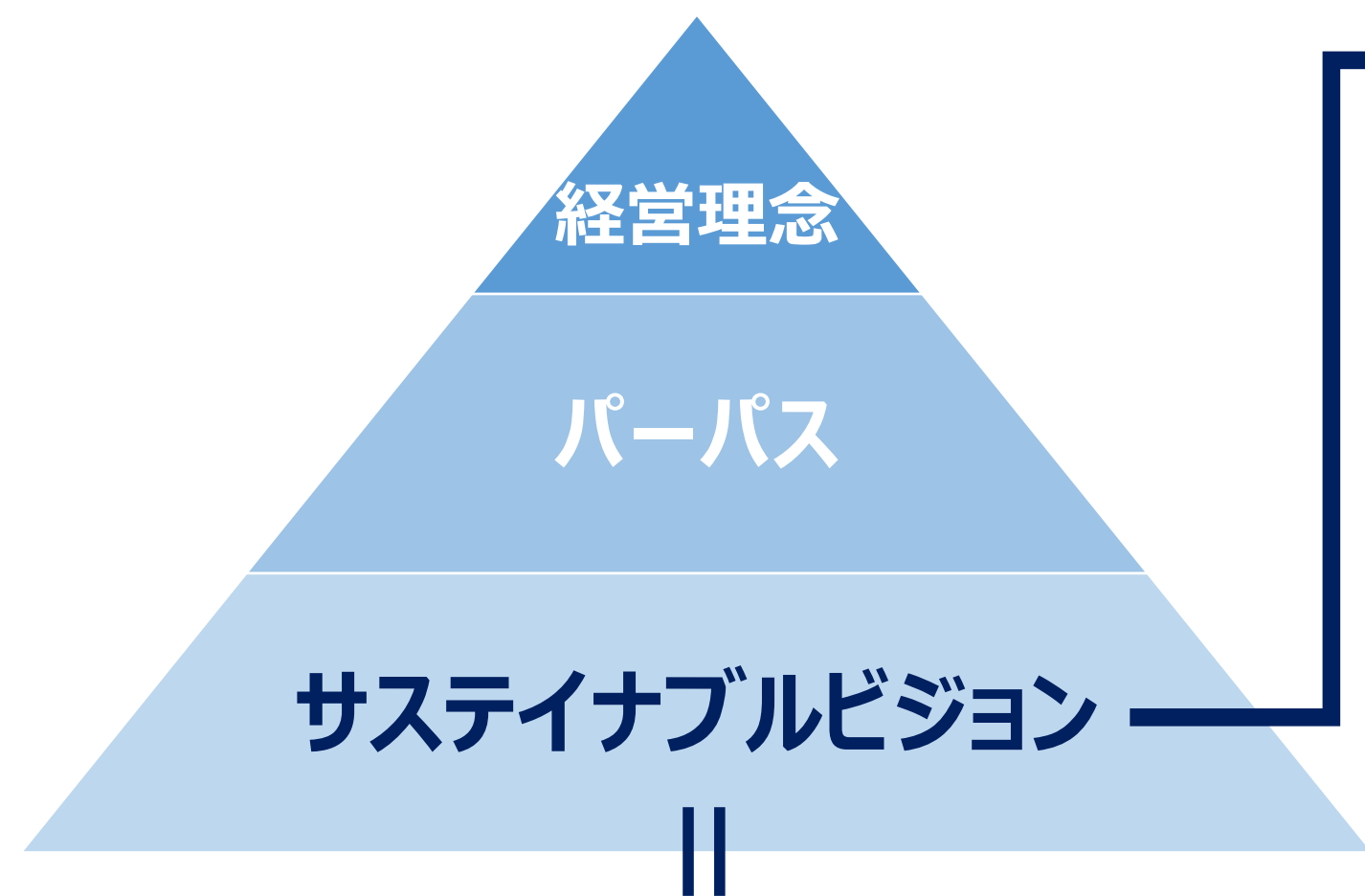
2023年5月制定

● パーパス制定の背景

私たちは何をなすべき存在なのか、
これまで（過去）とこれから（未来）の想いを継承していきます

● パーパスに込めた想い

**これまでの「大量生産」や「大量消費」の世界から脱却し、
「環境負荷の低減」と「人類の豊かさ」を両立させることは、
限りある資源をもとに“ものづくり”を支える私たちだからこそ
果たさなければならない使命であるとの認識のもと、制定**



私たちが2050年までに目指す
持続可能な社会に貢献している姿

サステイナブルビジョン2050

「より少なく、よりよく。」に共感する多くのパートナーと共に、物質的制約を超えていくソリューションを創造し続け、資源の枯渇や気候変動といった社会が解消された世界を実現している。


サステイナブルビジョンを達成するための

成功の柱	
CN	カーボンマイナスへの挑戦
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ
CX	リアルとデジタルの融合

※「成功の柱」≡マテリアリティ

「成功の柱」が目指す姿

- 当社が持続的に成長するための、「2050年の目指す姿」を設定。
- 2050年までの長期的なスパンで、目指す姿からバックキャストした施策の取組みを実行。
- 取組みは中期経営計画に実装し、研究開発投資及び適切な人的・設備投資を行い、当社のブランド・ノウハウ等の企業価値を高め、事業ポートフォリオを再編。

成功の柱		2050年の目指す姿	
CN	カーボンマイナスへの挑戦	実質カーボンマイナスを達成します。	 2023年認証取得※
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用	枯渇リスクの高い資源の最終廃棄をゼロにします。	
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出	消費資源量あたりの価値を大きく飛躍させるビジネスモデルを構築します。省エネ、省資源、脱炭素などの社会課題解決につながるソリューションの提供を中核事業とします。	
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ	エンゲージメントが高く、多様な価値観を有し、専門性を高め合う人々が集う企業になります。	
CX	リアルとデジタルの融合	デジタル技術の活用により人々の働き方や事業そのものの変革を行い、「生産性の向上」、「変化への対応・意思決定の迅速化」、「新しいビジネスモデルや顧客価値の創出」を実現します。	

中期経営計画への実装

サステイナブルビジョン2050の達成

2030年 長期ビジョンの達成

中期経営計画の達成

事業ポートフォリオの再編

ブランドカ、ノウハウ等の醸成

研究開発投資
適切な人的・設備投資

※ecoVadis (エコバディス)

フランスに拠点を置くEcoVadis社による、サプライヤー企業の持続可能性を評価・モニタリングするための共同プラットフォーム。当社は、ブロンズに認定。

カーボンマイナスへの挑戦

実質カーボンマイナスを達成します。

取組みテーマ

- 事業活動から発生する温室効果ガスを減らします。
- 使用するエネルギーから発生する温室効果ガスを減らします。
- サプライチェーンの川上川下で発生する温室効果ガスを減らします。
- カーボンマイナスを実現するための商品開発を強化します。

成功の柱

CN	カーボンマイナスへの挑戦
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ
CX	リアルとデジタルの融合

■ 当社が排出するCO₂削減取組をより加速していきます。

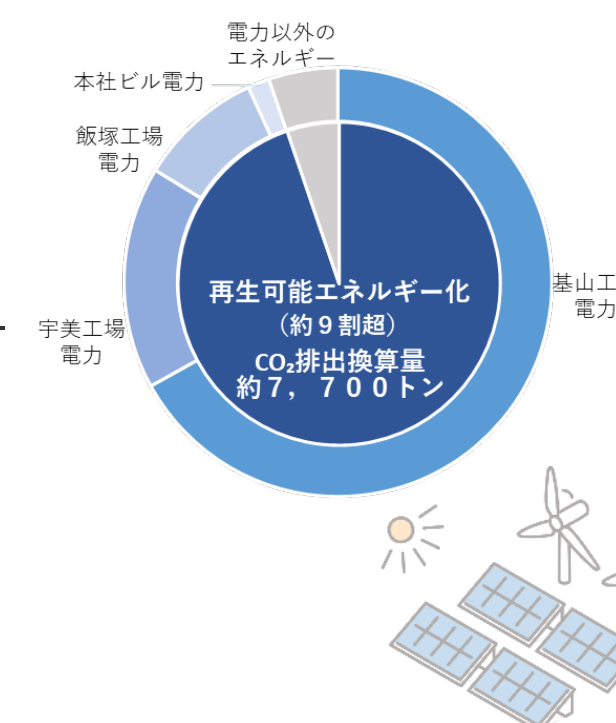
【SCOPE 1・2・3への取組み】

1. CO₂算定ソフト導入による排出量測定（現状把握）
2. 現状のCO₂排出量からの削減目標策定
3. 企業活動におけるCO₂排出量削減に向けた戦略策定

すでに行っている取組として

■ 再生可能エネルギー由来電力への切り替え

- 3工場・本社ビルの電力を100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替え（2022年4月～）
- 当社使用エネルギー全体の約9割を超える、年間16,000MWh・7,700トン相当のCO₂削減効果



枯渇リスクの高い資源の有効活用

枯渇リスクの高い資源の最終廃棄をゼロにします。

取組みテーマ

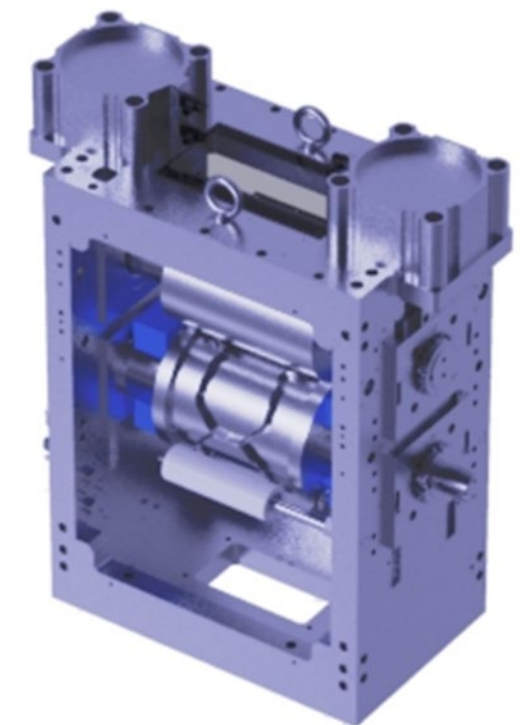
- リサイクル原料の活用を推進し地球から採掘する資源を削減します。
- お客様からの回収を含めサプライチェーンにおけるリサイクルを推進します。
- 資源使用量削減だけでなく、省資源形状などを積極的に提案します。

成功の柱

CN	カーボンマイナスへの挑戦
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ
CX	リアルとデジタルの融合

NTダイカッターの寿命を向上する新材料の開発

- 従来材の特性をベースに硬度を維持しながら破壊靱性（粘り強さ）を強化した新材料
- 新材料を使用したNTダイカッターの寿命は従来材と比較して約3倍に向上
- 高吸水樹脂を含有した資材など難加工性資材の切断への適用展開を積極的に進め、衛生材・サニタリー用品業界のサステナビリティに貢献していく
- 今回の新材料開発は、枯渇リスクのある資源を有効活用ができるため、サニタリー用品業界のみならず、耐食性・耐摩耗性が求められる用途やアプリケーションの探索、展開を積極的に進め、本新材料の適用拡大を図っていく



提供価値の転換と新たな価値の創出

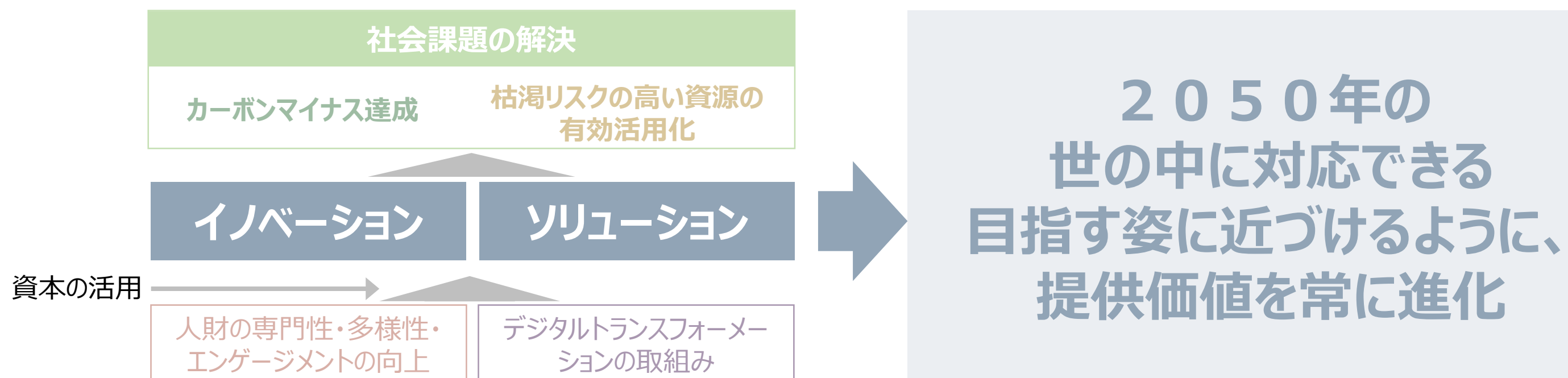
消費される資源あたりの価値を大きく飛躍させるとともに、省エネ、省資源、脱炭素などの社会課題解決につながるソリューションの提供を中核事業とします。

取組みテーマ

- 優れた商品を持続可能な製法とサプライチェーンで提供します。
- 市場の用事を探求し、デジタル技術活用等により付加価値を創出します。
- コア事業の進化と新規事業の創出を両立します。
- イノベーションを創出するための人材・組織能力とプロセスを強化します。

成功の柱

CN	カーボンマイナスへの挑戦
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ
CX	リアルとデジタルの融合



働きがいと創造力のスパイラルアップ

多様な価値観を持った人々が、
働きがいを感じ、積極的に力を合わせて
価値創造に挑戦する企業文化を醸成します。

取組みテーマ

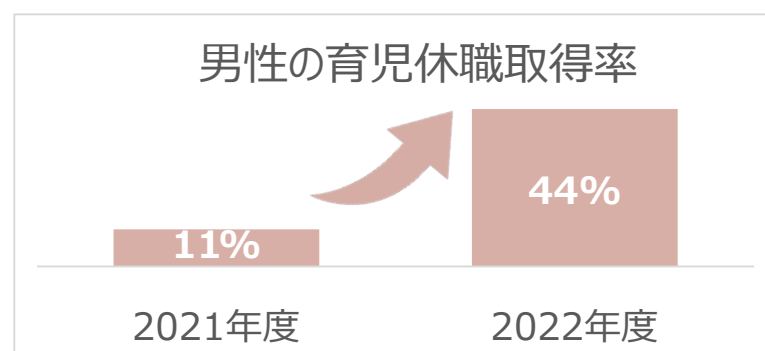
- すべての社員がイキイキと働けるように、健康経営を実践します。
- 会社の方針と社員の想いを融合させ、エンゲージメントを高めます。
- 多様な人々が認め合い共に成長する環境を整備します。
- 挑戦と学習を推奨、支援する制度や仕組みを整備します。

成功の柱

CN	カーボンマイナスへの挑戦
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ
CX	リアルとデジタルの融合

男性の育児休職の取得

- 男性の育児休職取得率が増加傾向
- 管理職の理解の浸透・広報誌での啓発等で推進



ウェルビーイング教育

- 女性従業員を対象として、「ライフステージを通じて起こりうる女性特有の健康問題」をテーマに実施
- 中堅層の従業員を対象として、「生活習慣病リスクの理解と予防意識の向上」をテーマに実施予定

ウォークラリー大会

- 従業員にスマートウォッチを貸与
- 運動機会の増進に向けた取組みとして12月に第1回ウォークラリー大会を開催



参加者の平均歩数が
1日当たり1万歩超え



リアルとデジタルの融合

データ活用とデジタル技術を基盤とし、価値創造サイクルを迅速に回して提供価値を高めます。

取組みテーマ

- スマートファクトリー実現により、生産活動を自動化します。
- 数値計算手法やMIを活用し、開発スピードを向上します。
- データドリブン営業の実現により、お客様へ高付加価値を提供します。
- デジタル技術に習熟し、変革を推進できる人材を育成します。

成功の柱

CN	カーボンマイナスへの挑戦
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ
CX	リアルとデジタルの融合

データドリブン営業の実現

- **営業マンの誰もが、高度なデータを分析できるようにし、質の高い営業活動や迅速な意思決定につなげる。**



1. 営業成績に直結する行動の導き出し
2. 最適な商品別販売体制の構築
3. 新たな営業案件の創出

3. 日本タングステングループ 長期ビジョンと事業戦略

(2) 2024中期経営計画(2021~2024)の進捗状況

長期的なビジョン

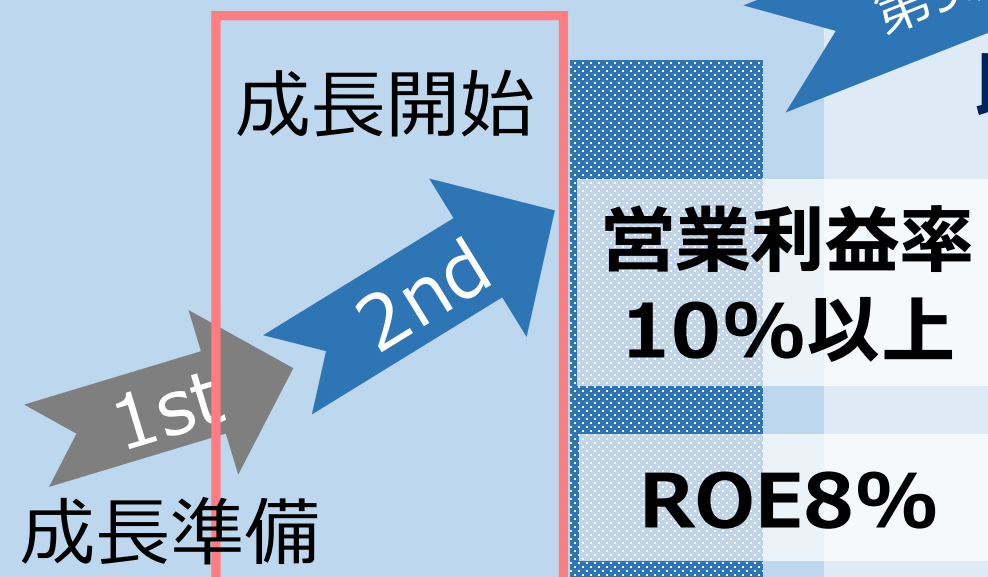
- 長期ビジョンでは、2030年度に営業利益20億円、営業利益率10%以上、ROE10%を目指す。
- 2024中期経営計画は、2024年度に営業利益率10%以上、ROE8%を目指す。

サステナブルビジョン2050

日本タングステングループ長期ビジョン

第8次中期経営計画 (2024中期経営計画)

利益体質強化、新規事業によるさらなる成長への布石



2021 現在地 2024

第9次中期計画

第10次中期計画

既存事業から新規事業へ
シフトし大きな飛躍



2030

2031 創立100周年

「より少なく、よりよく。」に共感する多くのパートナーと共に、物質的制約を超えていくソリューションを創造し続け、資源の枯渇や気候変動といった社会課題が解消された世界を実現している。

サステナブルビジョンを達成するための
“成功の柱” ≡ マテリアリティ

カーボンマイナスへの挑戦

枯渇リスクの高い資源の有効活用

提供価値の転換と新たな価値の創出

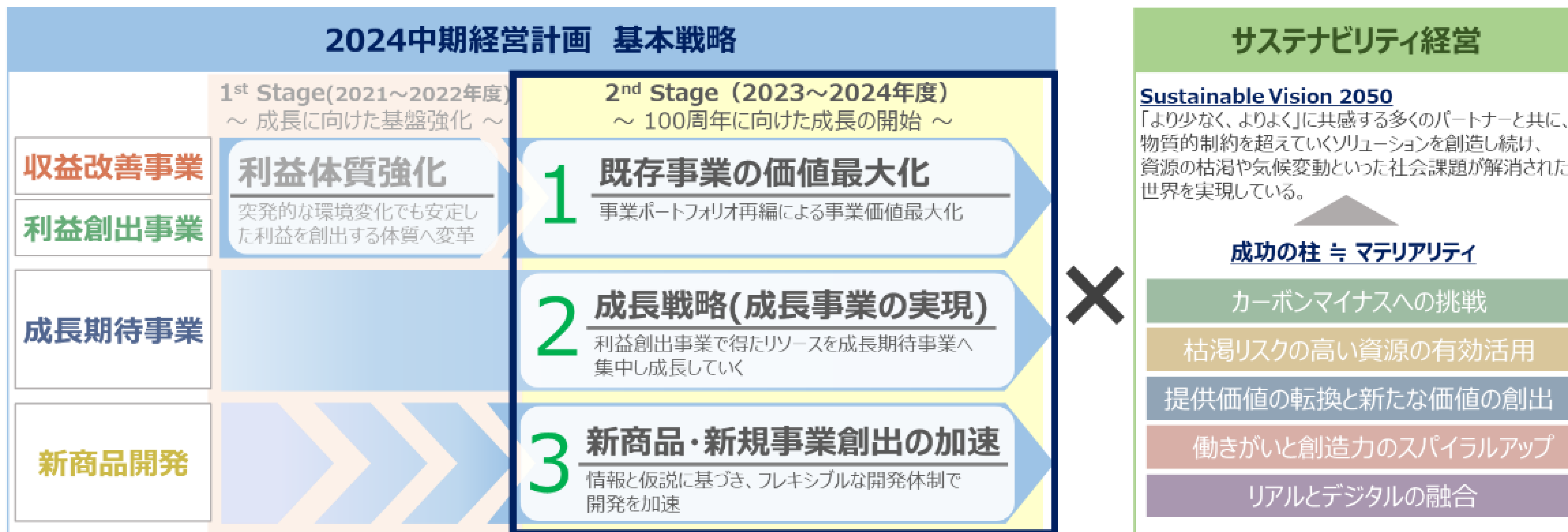
働きがいと創造力のスパイラルアップ

リアルとデジタルの融合

2050

2024中期経営計画 2nd Stage基本戦略

- 2024中期経営計画の2ndステージでは、3つの基本戦略を実行中。
- サステナビリティ経営を中期経営計画に実装し、サステナブルビジョン2050の実現を目指す。

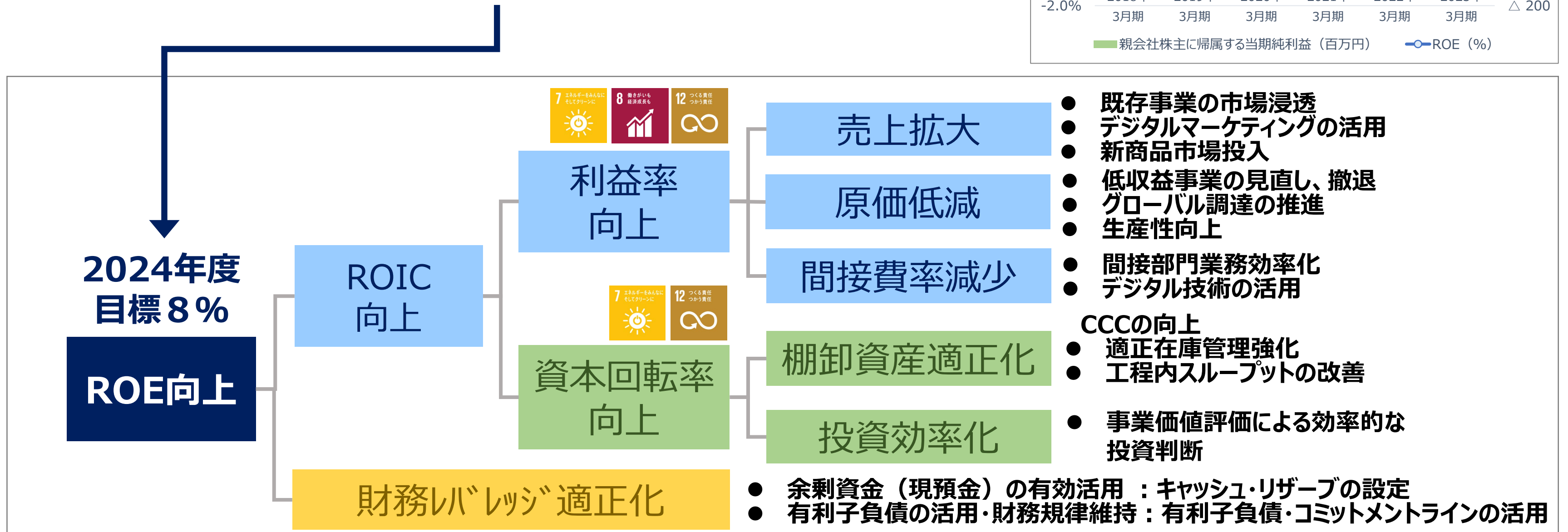
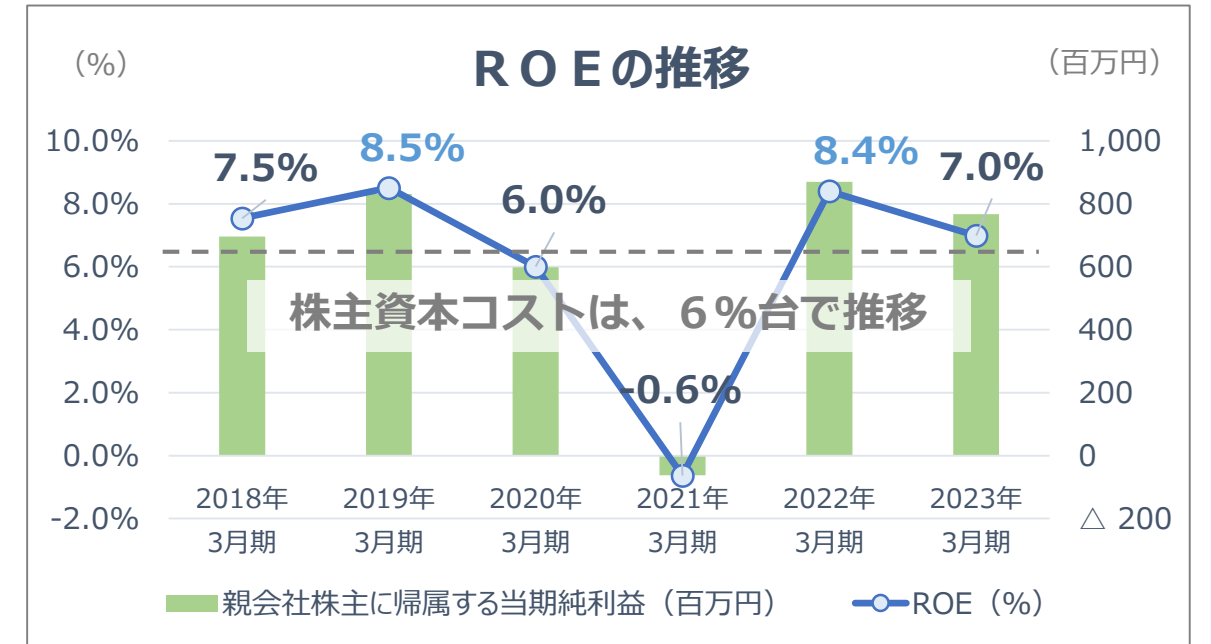


サステナビリティ経営の実装・実践

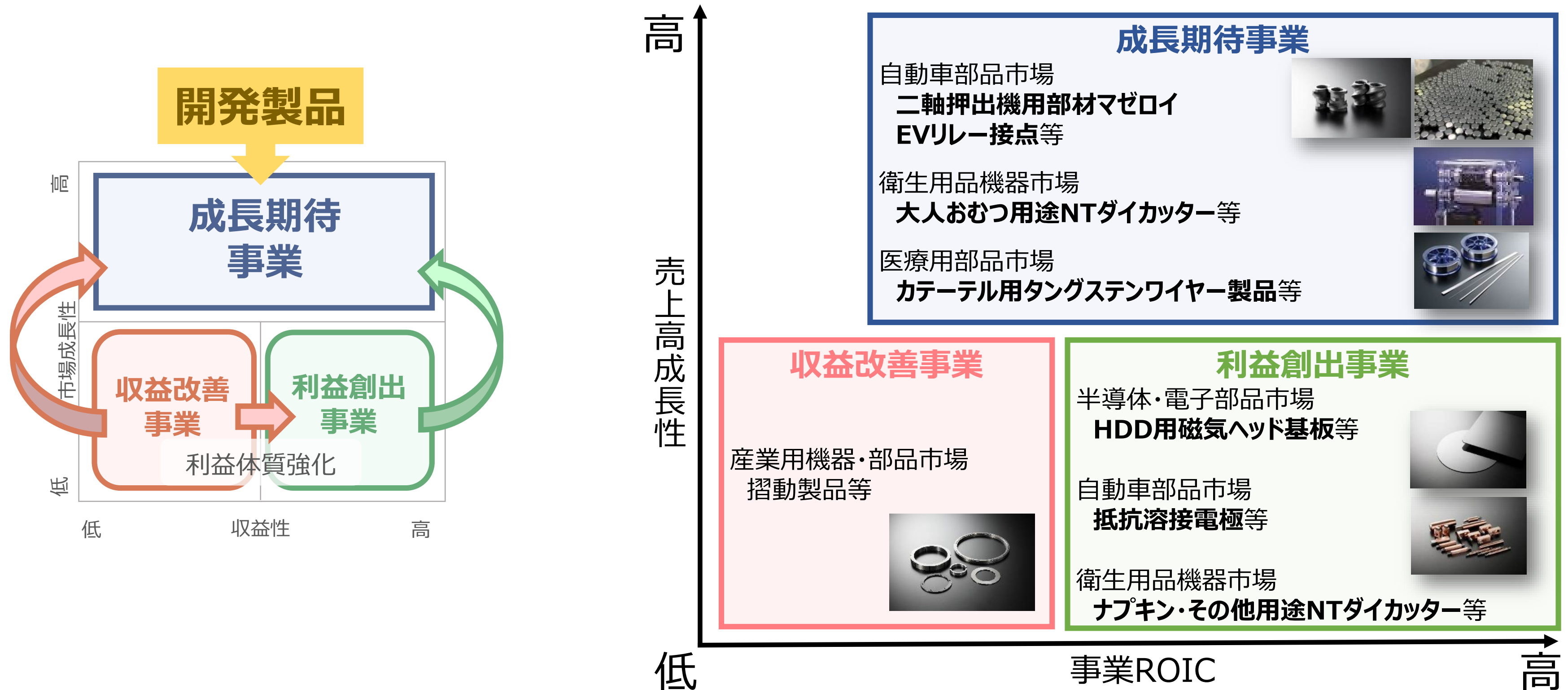
- サステナビリティ経営委員会の発足、全社連携で施策推進
- パーパス・ビジョンの浸透、働きがいのある職場づくり

● 資本収益性の向上

- 中期経営計画の目標の一つとして掲げる「ROE 8%以上」は好業績時に達成できる水準。
- ROE指標の要素を分解して、企業価値向上策を抽出し推進。
- キャッシュの活用を推進しながら、財務レバレッジをコントロール。



ポートフォリオを再編し、利益創出事業で得たリソースを成長期待事業へ集中し成長していく。



■ 成長分野への投資（新製品開発）

遠紫外LED関連製品

- 理化学研究所との共同開発により、人体に無害でウイルスを不活化する波長230nm領域の遠紫外LED光源並びに集積化による高出力モジュールの開発を発表。
- 医療における予防・検査、環境衛生機器のコア部品として製品化を目指す。



3 すべての人に健康と福祉を

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

12 つくる責任 つかう責任

波長230nmLED

人体無害で光による除菌が可能なLEDを開発

特長

- ◇ 国立研究開発法人 理化学研究所 平山量子光素子研究室と共同で開発
- ◇ 従来の殺菌用光源である波長 265nm~285nmより人体への影響が少なく、ウイルスの不活化効果をもつ波長230nmのLEDを使用

開発中のLEDパネル。ご興味がありましたら、ご連絡ください。

■ 波長230 nmの紫外線とは？

紫外線 可視光 赤外線

200nm 280nm 320nm 400nm

UV-C UV-B UV-A

200nm~230nm

波長 200nm~230nm の紫外線

- ・ウイルスに対しては細胞核に到達しますが、人体に対しては角質層、角膜で吸収されます。
- ・紫外線が細胞分裂する皮膚や眼球の内部へ到達しないため、人体に影響が少ないとされます。

皮膚への影響

従来の紫外線 透過して細胞を破壊

波長 200nm~230nmの紫外線 角質層で吸収される

角質 表皮 真皮 皮下組織

有棘細胞 表皮突起

目への影響

波長 200nm~230nmの紫外線 角膜で吸収される

従来の紫外線 角膜を透過する

- 当社と国立研究開発法人理化学研究所は、波長230ナノメートル（nm、1nmは10億分の1m）の遠紫外発光ダイオード（LED）光源を共同開発した。
- 遠紫外LED光源とともに、集積化による高出力光源モジュールの開発に成功した。（2023年5月特許番号7291357登録）
- 波長230nm LEDを用いて発光に至った報告例は少なく、本分野では最先端の研究成果の一つとなる。
- 波長230~235nm領域の紫外光となる遠紫外線は、人体への影響を低く抑えつつ、ウイルスに対する不活化効果が高いとされる。
- 今後、人体に対して無害とされる波長のLEDを活用して、医療における予防・検査、環境衛生機器のコア部品として、2025年の製品化を目指す。

2024中期経営計画の進捗

- 2ndステージ前半は、中国経済の減速やコロナ後の市況の変動を受け、半導体・電子部品市場や自動車部品市場の在庫調整等による一時的な需要減の影響から減収となり、厳しい需要環境で推移。
- 最終目標達成に向けて、各施策を加速化。

連結	2020年度 実績	1 st Stage (実績)		2 nd Stage	
		2021年度	2022年度	2023年度 予想	2024年中計 最終年度目標
売上高	98.9億円	120.3億円	126.5億円	110億円	130億円
営業利益	2.7億円	9.1億円	9.3億円	2.2億円	10億円
営業利益率	2.8%	7.6%	7.3%	2.0%	8%
ROE	△0.6%	8.4%	7.0%	2.9%	8%
研究開発費	2.6億円	3.1億円	3.3億円	3.2億円	14億円/4年 (3.5億円/年)
設備投資額	3.2億円	2.6億円	6.1億円	15.6億円	32億円/4年 (8億円/年)
株主還元 (1株当たり配当金)	40円	120円	120円	100円	120円

※中期経営計画の詳細は当社ホームページの経営計画サイトをご参照ください。(https://www.nittan.co.jp/company/b_policy/plan)



4. 2024年3月期第2四半期の業績概要

2024年3月期（2023年度）第2四半期決算の総括

- ・第2四半期の業績は、各市場の在庫調整等、需給環境の変動に伴う一時的な需要減もあり、前年同四半期比で連結・個別ともに減収減益。
- ・通期業績予想の修正に関するお知らせのとおり、受注環境は当第3四半期を底に回復傾向に向かうと想定。

ターゲット市場の概況

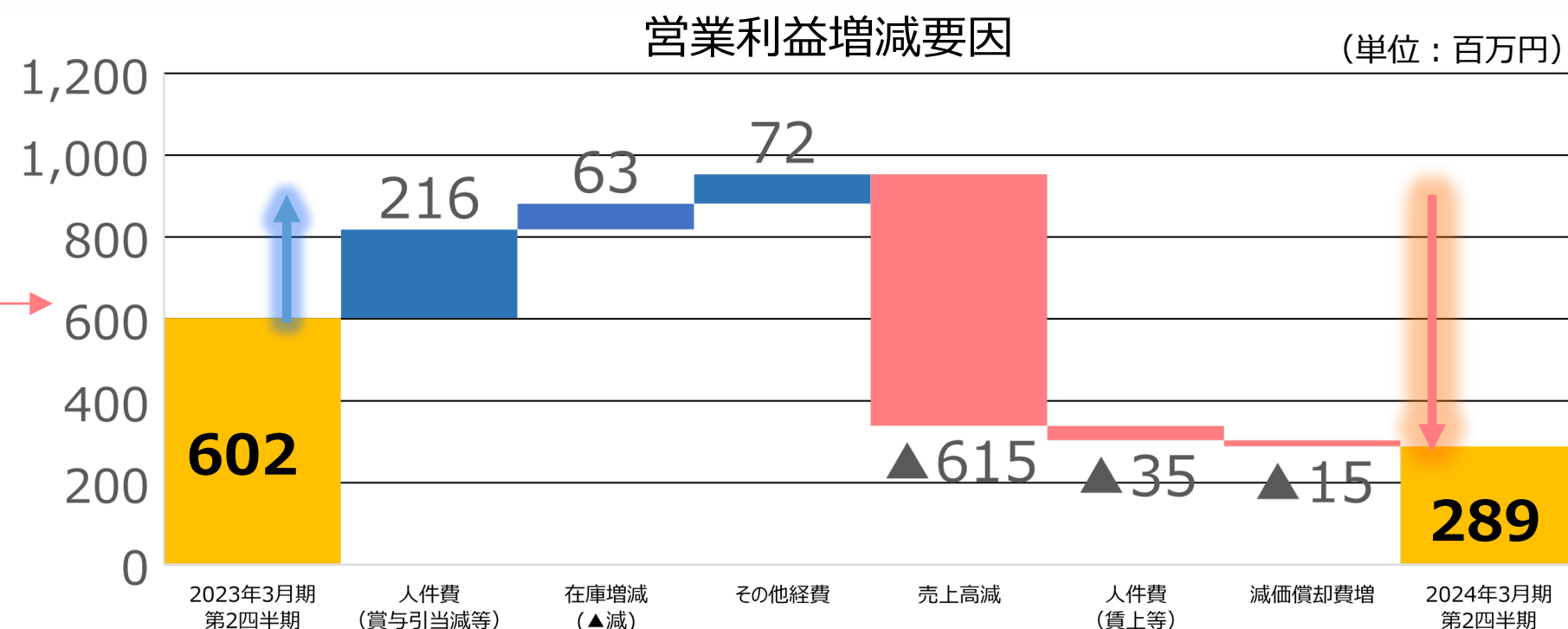
- ・半導体・電子部品市場 : 顧客の在庫調整や設備投資の先送り等があったものの、第1四半期に納期が集中したことにより、増収
- ・産業用機器・部品市場 : ここ数年活発であったデータセンター投資の一時減速に伴い、ハードディスクドライブの在庫調整が想定よりも長期化していることから、大幅な減収
- ・自動車部品市場 : 半導体不足が解消する中で回復しつつあるものの、一部では在庫調整が継続しており、減収
- ・衛生用品機器市場 : 前年同四半期を上回ったものの、中国の景気減速の影響等もあり、伸び悩むなかで推移

剰余金の配当（中間）

- ・中間配当金予想どおり、1株当たり50円を実施。

連結業績の概要

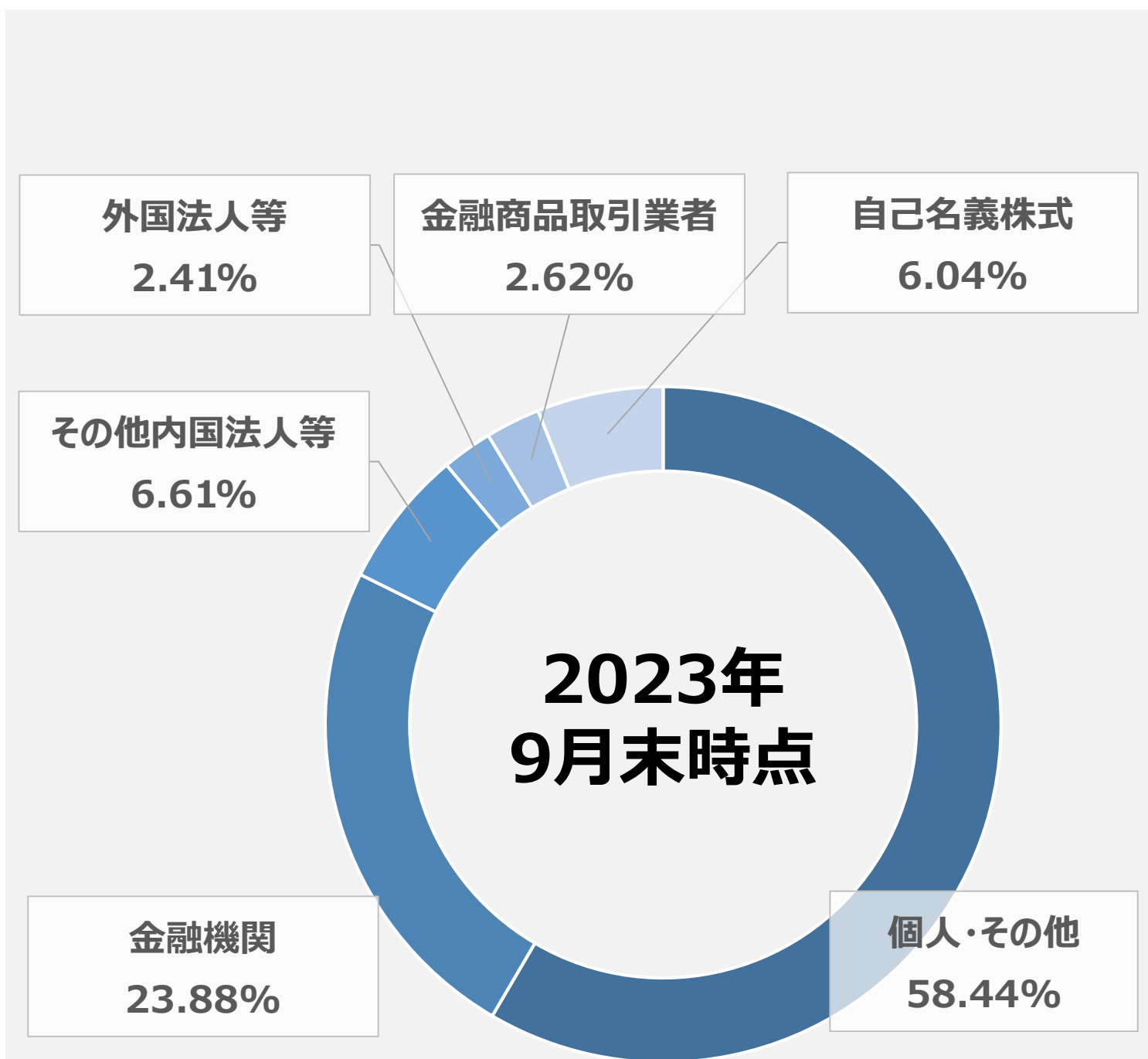
	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	(単位：百万円)	
			対前年比 増減額	増減率 (%)
売上高	6,611	5,669	△941	△14.2
営業利益	602	289	△313	△52.0
経常利益	756	457	△298	△39.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	518	361	△156	△30.2



連結売上高	56億6千9百万円 (前年同四半期比14.2%減)	・各ターゲット市場での販売が振るわず、連結売上高は、前年同四半期比14.2%の減収。
営業利益	2億8千9百万円 (同 52.0%減)	・海外の連結子会社の業績が、円安効果もあり、好調に推移したものの、当社の個別業績において、各ターゲット市場での注力商品の在庫調整、当期に実施した賃上げに伴う人件費の増加、生産性向上に向けた設備更新による減価償却費の増加等により、前年同四半期比52.0%の減益。
経常利益	4億5千7百万円 (同 39.5%減)	・関連会社の持分法による投資利益の増加のほか、サステナビリティの観点から廃棄物の一部を売却に切り替える取り組みを行っているものの、営業利益が大幅な減益であったことから、経常利益も前年同四半期比39.5%の減益。
親会社株主に 帰属する四半期 純利益	3億6千1百万円 (同 30.2%減)	・清算中である海外子会社の設備の一部及び投資有価証券の一部を売却し特別利益として計上したものの、経常利益の減少により、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同四半期比30.2%の減益。

5. 株式の状況と株主還元

● 所有者別株式分布状況



● 株式指標

発行済株式数(2024年1月1日現在) 5,155千株

株価 (1月16日) 1,233円

1株当たり純資産(2024/3月期第2四半期) 2,423.26円

PBR : 株価純資産倍率 0.51倍

1株当たり当期純利益(2024/3月期予想) 72.36円

PER: 株価収益率(2024/3月期予想) 17.0倍

1株当たり年間配当金(2024/3月期予想) 50.0円

配当利回り(2024/3月期予想) 4.0%

※ 1 2024年1月1日に1 : 2の株式分割を実施し、発行済株式数は、2,577,760株から5,155,520株となっております。
 2 1株当たり情報等は、株式分割後の発行済株式数により、算出しております。
 3 株価及びPER・配当利回りの算定基礎となる株価は、東京証券取引所の2024年1月17日の終値を用いております。

1) 株式分割

- ・当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げ（買いやすさの向上）
- ・新しいNISA制度の導入を踏まえた、個人投資家の投資環境の整備（幅広い世代等からの投資を期待）

当社普通株式1株を2株に分割

効力発生日：2024年 1月 1日（月）

	株式分割前		株式分割後	
投資単位	24万円	2024年1月1日	12万円	より買いやすく
株式数…a	100株		200株	12万円×200株=24万円となり、 所有株式の価値は変わらない。
1株当たり年間配当金（予想額）…b	1株当たり100円		1株当たり50円	
年間配当金総額（予想額）…a×b	10,000円		10,000円	年間配当金総額（予想額）は 変わらない。

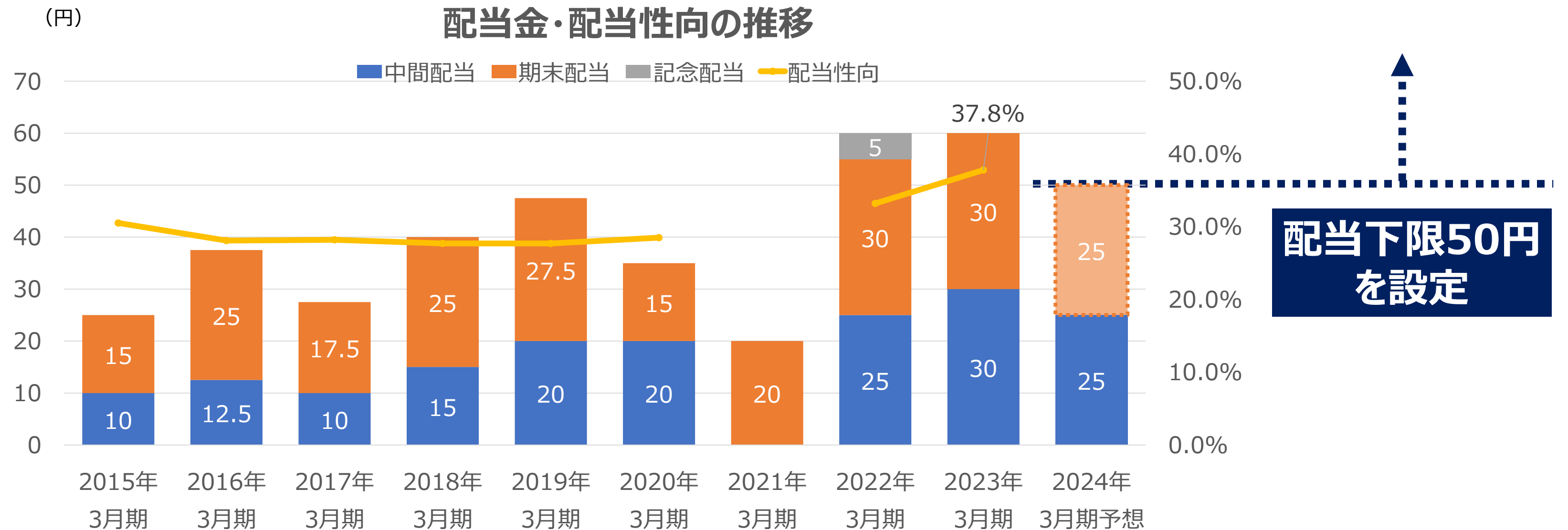
2) 貸借銘柄の選定（2023年2月）

- ・当社株式の流動性及び需給関係の向上を促進
- ・売買の活性化と公正な価格形成がなされることを期待

貸借銘柄選定により、信用取引の買建だけでなく、売建も可能

3) 年間配当金の下限設定 (安定的・継続的な株主還元)

- 当社の利益還元の姿勢をこれまで以上に明確化
- 年間の1株当たり配当金額に50円の下限を設定



※ 1 2021年3月期は当期純損失のため配当性向は該当ありません
 2 1株当たり配当金額は、株式分割後の発行済株式数により、換算しております。

(ご参考) 当社の配当利回り

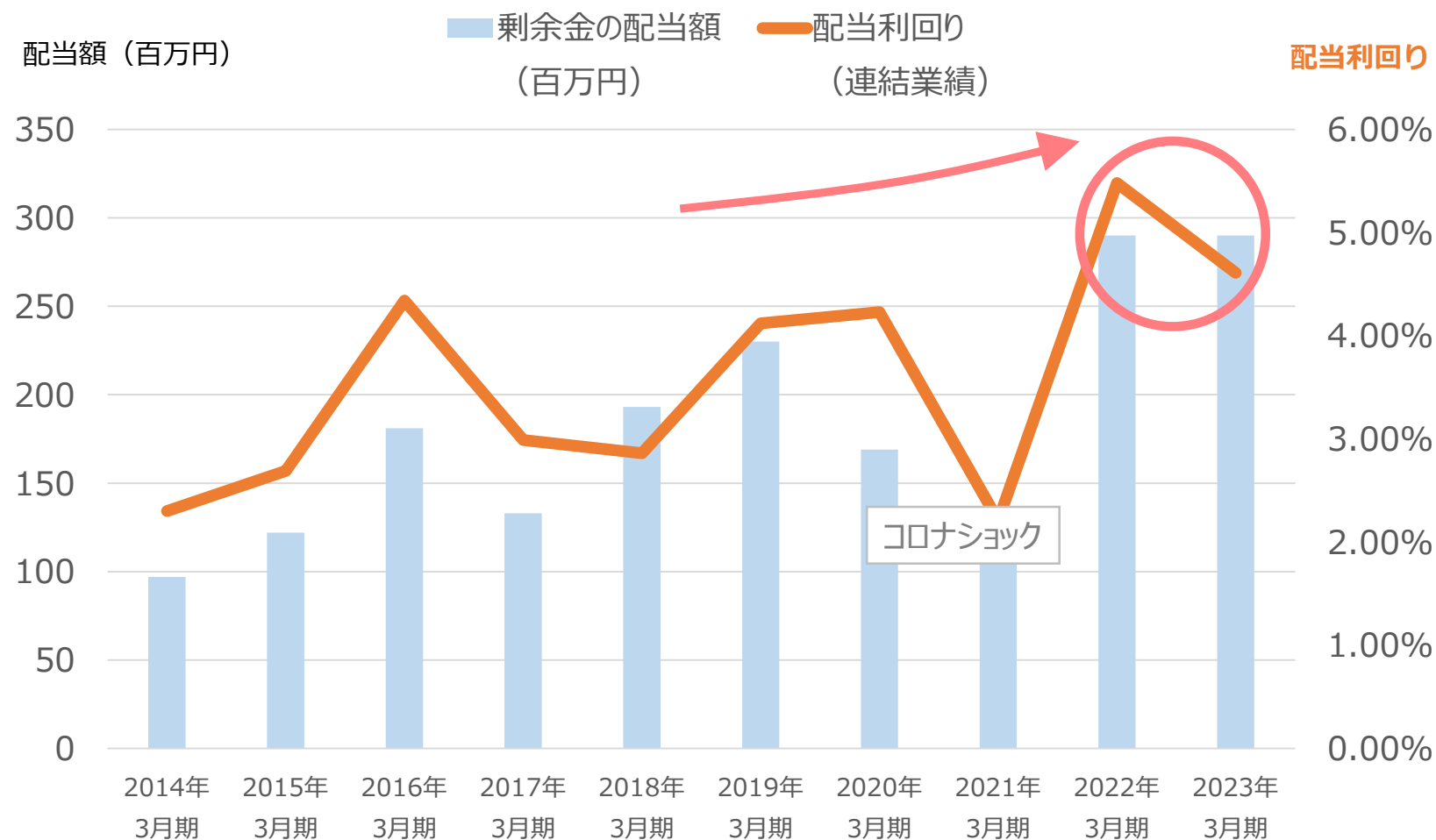
● 剰余金の配当額・配当利回り

剰余金の配当額は、2022年3月期及び2023年3月期が、過去最高額（年間配当金1株当たり120円※）であり、配当利回りも4～5%台で推移。
※株式分割前

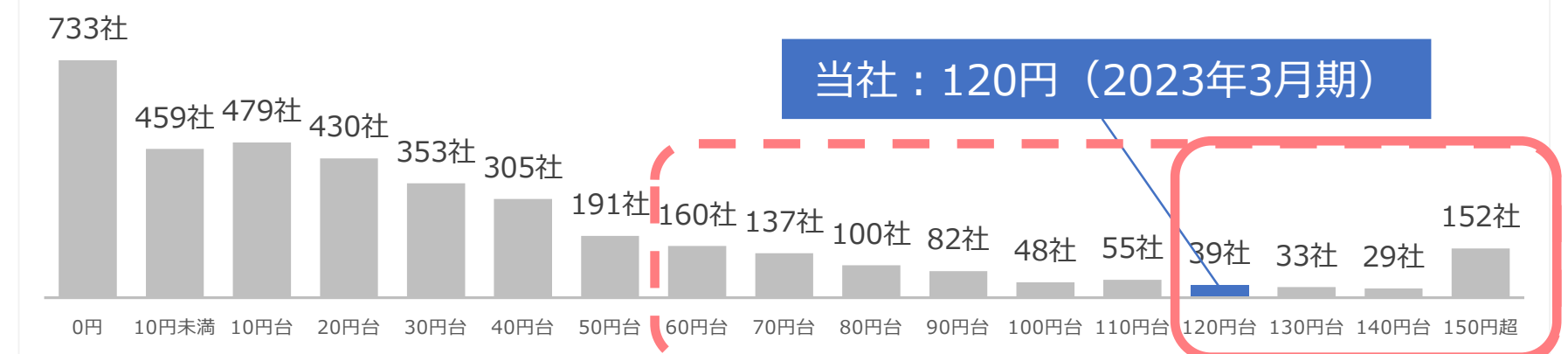
● 剰余金の配当額・配当利回りの分布

当社の1株当たり年間配当金額※及び配当利回りは、東証市場の中で高い位置にある。
※株式分割前

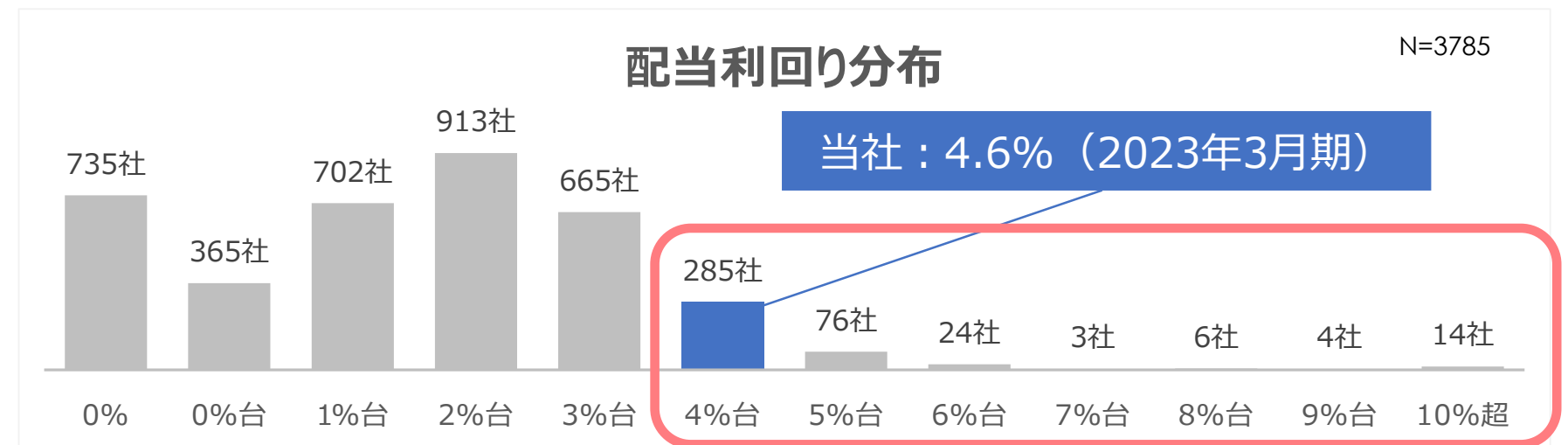
剰余金の配当額・配当利回りの推移



1株当たり年間配当金分布



配当利回り分布



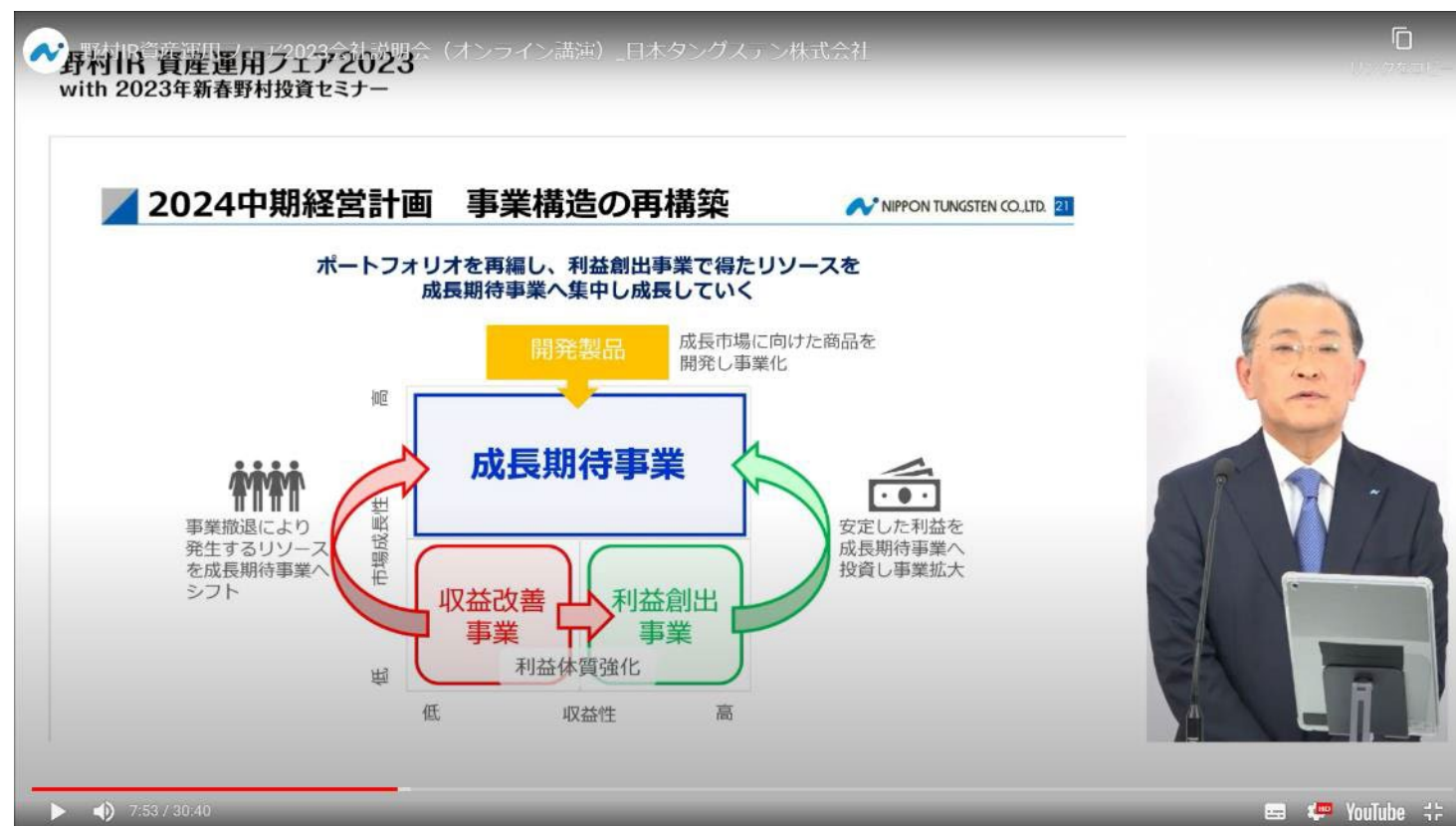
出典元：SPEEDAデータを利用し、グラフ化。
管理銘柄等を除く、東証プライム・スタンダード・グロース企業の直近決算年度の実績に基づく。

4) 投資家層の拡大に向けて、日本 2大IRイベントに参加

● 野村IR資産運用フェア2023 (2023年1月)



- ・ 延べ3万3千人がオンライン参加
- ・ オンライン形式による会社説明会を開催



会社説明会の様子

● 日経IR・個人投資家フェア2023 (2023年9月)

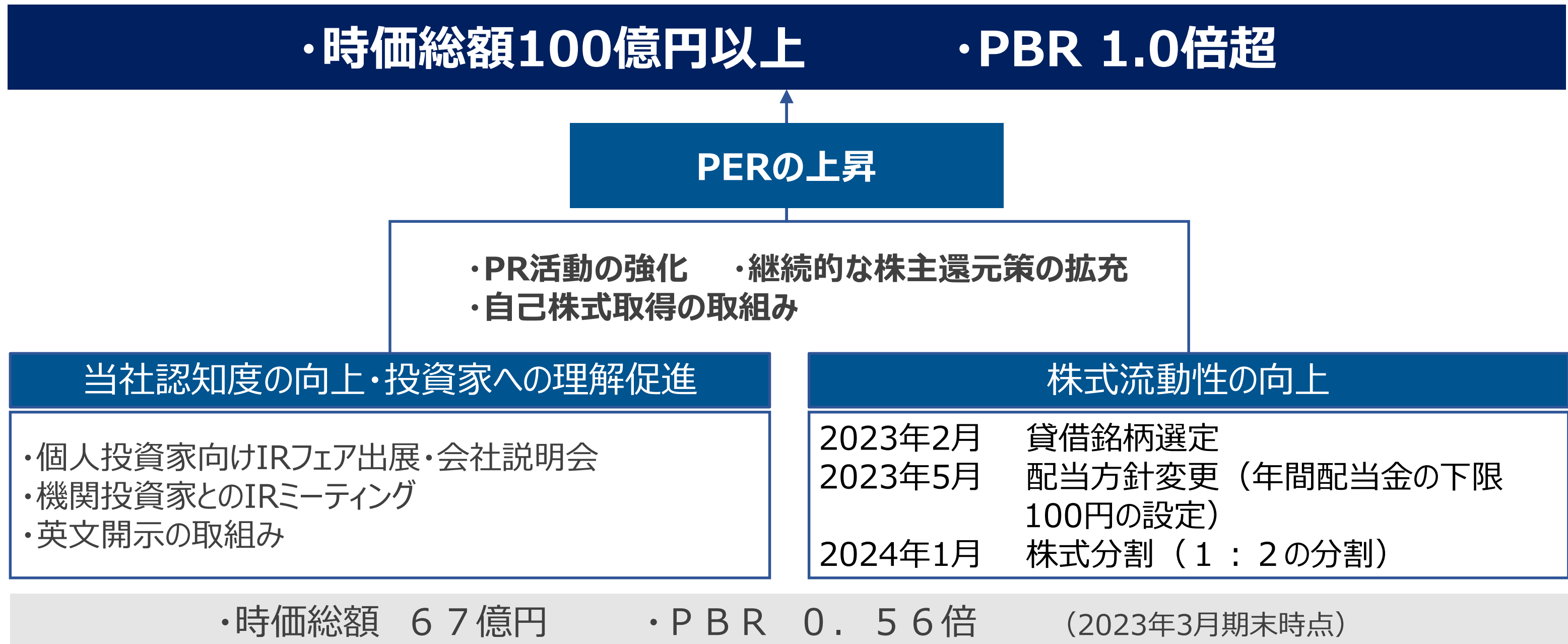
- ・ 全国から80社が出展
- ・ 約1万人が来場
- ・ リアルブースにてミニ会社説明会を開催



ミニ会社説明会の様子

● 取組みにより目指す姿

- ・株価向上施策に加え、株式流動性向上に向けた基盤強化等の施策を遂行し、**時価総額 100億円以上を目指す。**
- ・投資家等とのコミュニケーション活発化や、PR活動等を強化し、株式流動性を高めることで、**PBR1.0倍超を目指す。**



日本タングステンの事業

タングステンの「熱に強い」「硬い」「重い」というユニークな特徴を、**粉末冶金技術**という陶器を作るような製法により、「摩耗しにくい」「腐食しにくい」といった素材（マテリアル）の力を引き出し、特に**長寿命化を強み**として、**自動車製造用や産業用の機械部品**から、**半導体・衛生・医療**の用途まで、幅広い市場に事業を展開する金属加工メーカー

サステナビリティ経営の推進

パーパス「**より少なく、よりよく。**」を胸に、持続的な社会と当社の持続的な成長に向けて、5つの「**成功の柱**」を達成し、2050年までに目指す姿（**サステイナブルビジョン**）を実現する。

当社株式の活性化

- ・株式流動性を向上させるため、**株式分割及び貸借銘柄の選定等の基盤整備**を実施。
- ・投資家とのコミュニケーションに積極的に取り組み、PERを高め、**時価総額100億円以上、PBR1.0倍以上を目指す。**

株主還元について

年間配当金の下限100円を設定し、安定的・継続的な株主還元に努める。

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



■ I Rに関するお問い合わせ先

経営管理本部 経営管理部 : TEL092-415-5500

mail : info@nittan.co.jp

ホームページ : <https://www.nittan.co.jp/>